東海地区

大学図書館協議会誌



66

2 0 2 1

東海地区大学図書館協議会

好き好き大好き! OKB



OKB 大垣共立銀行

東海地区大学図書館協議会誌 第66号 2021

目 次

巻	頭	言	大学図書館との出会い、あるいは心の風景	
			愛知教育大学 附属図書館長 野地 恒有	1
講	演 要	山	インフォデミックと図書館 ポストコロナ・AI 時代に図書館員が生き残るには 司書・ヘルスサイエンス情報専門員	0
報		告	跡見学園女子大学 講師 佐藤 正惠 CAN 私立大学コンソーシアム 20 年間の活動の記録 中部大学附属三浦記念図書館(C) 愛知学院大学図書館情報センター(A)	2
			南山大学図書館(N)	9
報		告	映画資料展「Moving Text ―映画資料を読む―」開催報告 静岡文化芸術大学図書館・情報センター 土屋 麻子	15
行		事	第75回(2021年度) 東海地区大学図書館協議会 総会・研究集会	26
会	則	等		29
総:	会当番館-	-覧		34
加	盟館一	覧		35
役	員館 一	覧		39
研	修会一	覧		41
広	告主一	覧		

大学図書館との出会い、あるいは心の風景

愛知教育大学 附属図書館長 野 地 恒 有

十代の頃、私は図書館という施設にはあまり行かなかった。むしろ、それまでは「有隣堂」という本屋に育てられたといえる。有隣堂とは神奈川県を中心に展開する本屋のチェーン店である。作家の山本文緒は有隣堂本店(横浜市伊勢佐木町)の思い出について、子どもの頃にはその本店でクリスマスや誕生日に親から好きな本を買ってもらっていて、20歳くらいまでそこが日本で一番大きな本屋と思い込んでいたということを書いている(「本屋は遊ぶところ」『角川文庫55th Aniversary』2003年)。私の行っていた有隣堂は本店よりもずっと小さい支店であったが、それでもそこは私にとって一番大きな本屋であった。小学生のときにそこで買ってもらった岩波の国語辞典の裏表紙には、亡父の手で「昭和四三年六月…名店ビル有隣堂にて」という万年筆の文字が残っている。

私の図書館との本格的な出会いは、やはり大学に入ってからの大学図書館においてである。その大学 図書館には入学後9年間お世話になった。私は民俗学という同時代の生活史を専攻した。冬の夜のある 日、人気のない、地の底にあるような大学図書館の書庫の片隅で、頁をめくりながら、こんなことをし ていていったいこれからどうなるのだろうかと暗澹とした不安を抱きながら、民俗事例の断片を博捜し ていたことが、底冷えのする静寂とともに思い出される。しかし、同時にまた、その中で次のような事 例を見つけたときの喜びは忘れがたく、たとえば山陰の〔隠岐諸島中之島のU神社では元旦の朝、アゴ (トビウオの方言名)の豊漁を祈って飛魚石という神事が行われる」(『隠岐島の民俗』、1973年)とか、 [隠岐諸島西之島のF集落では四ツ張網漁においてその年の最初にとれたアゴを黒焼きにして神棚に供 える〕(『隠岐島前漁村採訪記』、1935年)などのトビウオつながりの儀礼の断片は、やがて私の日本文化 の海洋性研究(『漁民の世界 「海洋性」で見る日本』講談社、2008年)に結びついていった。学生時代 の大学図書館における孤独と閉鎖的な世界が私の研究を支える基盤の一つを形成してくれたのであった。 大学図書館との次なる出会いは、現在勤務する愛知教育大学においてである。それは、学生時代とは 異なる、大学図書館における集いと開放的な世界との明るい出会いであった。本学の附属図書館には学 生の自由で実践的な学びを支援するエリアとして、アイスペース、メディアコモンズ、模擬授業ルーム、 キッズライブラリーと呼ばれる場所がある。アイスペースは学習成果を公開する展示やイベントなどを 行う場所。メディアコモンズは電子黒板やプロジェクターなどのICT機器が利用できる場所。模擬授業 ルームは教室を再現した部屋で、ICT機器やデジタル教科書を利用して模擬授業を行える場所。キッズ ルームは絵本、紙芝居、児童書などを集めた部屋で、子どもたちが集い学生が読み聞かせを行うことも できる場所。そのほか、可動式の机・椅子、ホワイトボードなどを置いてディスカッションやグループ 学習を行える場所もある。模擬授業ルームやキッズライブラリーなどは教員養成系大学の大学図書館と しての特徴を示しているであろう。今後は、さらに教員養成系らしい大学図書館の特色を進展させたい と妄想している。

講演要旨

令和2年度東海地区大学図書館協議会 研修会(2020.12.10)

インフォデミックと図書館

ポストコロナ・AI時代に図書館員が生き残るには

司書・ヘルスサイエンス情報専門員 跡見学園女子大学 講師

佐 藤 正 惠

1. はじめに

本稿は、2020年12月10日にWeb開催された東海地区大学図書館協議会の講演に加筆し一部修正したものである。2020年3月にWHOによりパンデミックが宣言された新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)は、本稿執筆時の2021年8月現在も変異型が猛威を振るい、社会活動や大学教育に大きな影響をもたらしている。不正確な情報が拡散されるインフォデミックに晒され、これまで医療や健康にさほど関心がなかった層にも信頼できる医療・健康情報についてのニーズは高まった。図書館と情報専門職である図書館員の果たす役割はますます重要となったといえよう。

筆者は日本医学図書館協会のヘルスサイエンス情報専門員認定を受けた医療機関の医学図書館司書である。また、医療ニュースを吟味して報道のあり方を考える「メディアドクター研究会」(http://www.mediadoctor.jp)では幹事を務め、ヘルスコミュニケーションと図書館をテーマに教育・研究活動を行っている。プロフィールについては以下をご参照いただきたい。https://researchmap.jp/SATOmasae library

本稿では下記の内容に沿って話題提供を行う。 第 I 章では、日本の医療制度や医学文献等についての基本的な知識を解説し、第 II 章では、社会や情報流通の変貌における図書館員の新たな役割について、具体的な行動を検討する。COVID-19に関する情報は日々更新されるので、最新情報は国のWebサイト等で確認いただきたい。なお、本稿の意見部分については筆者の私見であり、いずれの組織を代表するものではないことを申し添える。

【内容】

- I. 医療制度と医学情報検索のポイント
 - 1. 知っておきたい医療制度の状況
 - 2. ヘルスリテラシーとエビデンス・ピラミッド
 - 3. 検索エンジンを使いこなそう
 - 4. 医療情報でまず見るべきWebサイト
- Ⅱ. ポストコロナ・AI時代の図書館員の役割
 - 1. EBLIP (根拠に基づく図書館運営)
 - 2. BCP (災害時の事業継続計画)
 - 3. ビジネス・フレームワークの活用:マーケ ティング
 - 4. 図書館員の様々な役割とキャリアデザイン論
 - 5. 図書館のバリュー・スタディ (価値研究)

結果的に非常に幅広いトピックの提供となったが、何か一つでも業務のヒントになれば幸いである。

I. 医療制度と医学情報検索のポイント

1. 知っておきたい医療制度の状況

日本は高齢化社会を迎え、2025年にはベビーブーマー世代が75歳の後期高齢者となり、医療福祉の負担がピークとなる。これは「医療・介護の2025年問題」と言われ、国と地方自治体は医療機関の大規模な再編成を行い(図1)、「地域包括ケアシステム」構築を進めてきた(図2)。

地域包括ケアシステムにおいて、医療・健康について気になることがあれば、まずはクリニックや医院等のかかりつけ医、薬局のかかりつけ薬剤師、ケアマネージャー等の地域医療従事者に相談する。医師が必要と判断すれば、地域医療支援病



図1:医療・介護の2025年問題:医療機関の再編

院や急性期病院、リハビリテーション病院等あての紹介状(診療情報提供書)を持参し、専門医の治療や手術を受ける。必要な施療が終われば、逆紹介状を持って地域医療に戻る。これは限られた医療資源を有効に活用するシステムである。図書館の役割としては、公共図書館は地域の情報提供の場として、病院図書館・患者図書館はより専門的な情報提供が期待される。

がん対策基本法には、国と地方自治体に情報提供義務が明記された。国立がん研究センターは正確な情報を提供するため、「がん情報サービス(https://ganjoho.jp/public)」Webサイトを運営している。医療法により、がん対策や病床計画等の医療計画は都道府県が策定し、定期的に更新される。地域医療支援病院には共同施設として図書室

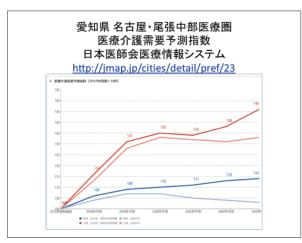


図3:名古屋·尾張中部医療圏 医療介護需要予測指数 http://jmap.jp/cities/detail/pref/23 (2021-8-10参照)

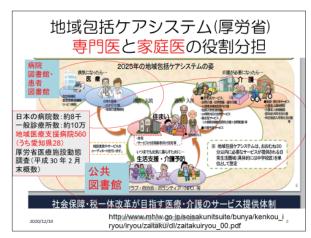


図2:地域包括ケアシステムのイメージ図

の設置が義務付けられている。医療圏は以下のように一次~三次に分けられている。

· 三次医療圈:都道府県単位 行動計画策定等

二次医療圏:複数の市町村の単位地域医療支援病院、災害拠点病院等

· 一次医療圈:町村単位 保健所、予防接種等

ちなみに、医療・介護の需要予測には、日本医師会が作成するデータベース「地域医療情報システム(http://jmap.jp/cities/detail/pref/23)」にて医療圏毎の将来的な医療介護需要を把握できる。

【医療法 第6条の2の3】には、医療消費者としての国民の責務が明記されている。

「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に 資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及 び業務の連携の重要性についての理解を深め、医 療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適 切に行い、医療を適切に受けるよう努めなければ ならない。」これは、学生への教育においても重要 な視点であろう。

2. ヘルスリテラシーとエビデンス・ピラミッド

ヘルスリテラシーとは、「健康情報を入手し、理解し、評価し活用するための知識、意欲、能力であり、それによって、日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーションについて判断したり意思決定をしたりして、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの」¹⁾

表 1:メディアドクター指標2018簡略版 (無断転載を禁じます)

メディアドクター指標2018簡略版

		<u> </u>		<u> </u>
	評化	西軸	満足=〇	不満足=×
1	利用可能性	利用可能か、どの ような人の利用に 適しているか、正 確な情報を提供し ていますか?	利用可能な患者や 対象、利用できる 時期について、正 確な情報を提供し ている。	利用可能性につい て、述べていない か、記述が不正確 である。
2	選択肢	ほかの選択肢と比 較していますか?	ほかの選択肢と比 較できる情報を提 供している。	ほかの選択肢につ いて述べていない。
3	科学的な根拠	効果について、科学的な根拠を踏ま えて書かれていますか?	効果について、科 学的な根拠の質を 踏まえた適切な情 報を提供している。	根拠と仮説・推測を混同している。
4	不利益と費用	不利益(副作用や 後遺症など)につ いて適切に述べて いますか?	不利益や費用につ いてバランスのよ い情報を提供して いる。	不利益や費用について、十分に言及していない。
5	見出しと内容	見出しは内容につ いて適切に記述し ていますか?	見出しは内容につ いて適切に記述し ている。	見出しは内容を適 切に記述していな い。

メディアドクター研究会 (http://mediadoctor.jp/)作成 2018

であり、ヘルスニュメラシー(健康医療に関する計算能力)、パブリック・ヘルスリテラシー、eヘルスリテラシー等を包括する。日本人は識字率が高いにもかかわらず、欧米に比べてヘルスリテラシーが低いという調査があり、特に情報の入手や吟味に課題が指摘されている²⁾。COVID-19をはじめ医療情報の信頼性はどのように判断すべきだろうか。医療情報の評価や吟味について、学生や市民が判断基準にできる、平易な表現による評価項目を2種類紹介する。

1)「いなかもち」

い:いつの情報か

な:何のために書かれたか

か:書いた人はだれか

も:元ネタ(根拠)は何か

ち:違う情報と比べたか

(出典:聖路加国際大学 看護情報学研究室

http://www.nursessoul.info/nakayama/)

2) メディアドクター指標

メディアドクター研究会は、オーストラリアの大学で考案され、各国で使用された指標をもとに、医療ニュースを評価・吟味する活動である。日本ではメディアドクター研究会が年4回の定例会を(2021年度はWeb)開催し、ヘルスリテラシーとメディアリテラシー向上のため活動している。(http://www.mediadoctor.jp)

人文社会系と比較して特徴的なのは、速報性が 重視され、図書より論文が重視されることであろ

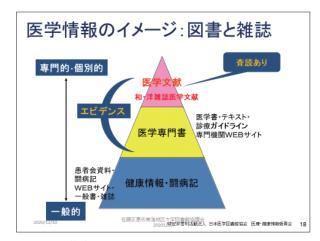


図4:医学情報のイメージ:図書と雑誌

う。実際、医学論文の多くがオンライン・ジャーナルとなり、紙媒体の蔵書はごくわずかという医学図書館もある(図4)。

医療においては、1990年代から「EBM (Evidence based Medicine:根拠に基づく医療)」が推進されてきた。「エビデンスに基づく医学は、個々の患者のケアに関する意思決定を行う際に、現在の最良の証拠を良心的で明示的かつ慎重に使用すること」である³⁾。

図5は、エビデンス・ピラミッドと呼ばれるエビデンスレベルの階層と研究デザインを表す図である。レベル1のシステマティックレビュー(SR)とは、臨床的な疑問(クリニカル・クエスチョン)において網羅的な文献検索を行うことである。医学に限らず、研究においてSRは重要であり、図書館員が専門性を発揮できる場である。医療分野では、さまざまな疾患に関して診療ガイドラインが

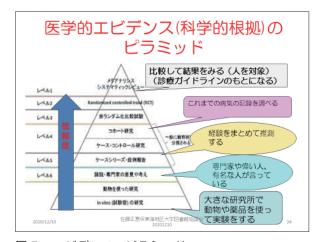


図5:エビデンス・ピラミッド



図6:6Sピラミッドとデータベース使い分け *カナダのマクマスター大学提唱、筆者が日本向けに 改編。

作成されているが、医学図書館員も情報専門家と して多くがSRに関わっている。

医学系データベースを使い分けるには、 $\lceil 6 \, \text{S} \, \text{ピ}$ ラミッド」(図 6) と呼ばれる階層を意識することが重要である。ピラミッド最下のPubMedや医中誌Web、CiNii等はSingle Studies(個別研究)のデータベースであり、上の階層に行くにつれて情報が選別され編集されて、診療ガイドライン、教科書や診断ツールとなる。

3. 検索エンジンを使いこなそう

Google やYahoo! 等の検索エンジンはスマートフォンで日常的に使用し身近な存在であるため、学生へのオリエンテーションでもデータベース検索の入門編として行うと関心が高い。

まず、Yahoo! は2011年にGoogleのロボット型検索エンジンに移行している。クローラーがWebサイトを巡回して、学術情報と認識したものはGoogle Scholarでも表示される。検索クエリーが入力されると、形態素解析により文節に切りわけAND検索されて、ノイズが生じる原因ともなる。PCやスマートフォンでは、GoogleアプリでなくGoogle.comのトップページ下部の「設定」から「検索オプション」を選択すると、詳細検索画面となる。完全一致(フレーズ)検索のほか、and, or, not検索、数値の範囲指定も可能である。検索後の絞込検索には、ツールバーの「ツール」機能を用い、フレーズ検索や期間指定ができる。さらに、検索語に以下のタグを追加すると、絞込検索が可能である。

- ・filetype:pdf(拡張子):ファイルタイプ。
- ・site:go.jp (URL):発信元サイト種別。

ストップワードは助詞や記号、前置詞などであり、検索から除外される。

検索エンジンを使う場合、検索履歴から検索者が好む情報だけを表示する「フィルターバブル問題 (エコー・チャンバー現象)」には注意が必要である。「設定」から「検索履歴」をチェックできる。

4. 医療情報でまず見るべきWebサイト

医療・健康情報では、インフォデミックといわれるほど不確実な情報がWebサイト上に氾濫している。図書館として推奨できるWebサイトの例を挙げる。

- ①がん情報:国立がん研究センター がん情報 サービス。一般向け、医療者向けの最新情報。 http://ganjoho.jp/public/index.html
- ②病気の解説:慶応義塾大学病院 医療・健康情報サイト KOMPAS (コンパス) http://kompas. hosp.keio.ac.jp/ 医学図書館員が参画しており、定期的に更新されている。
- ③各医学会のWebサイトの一般向け情報。 例)日本整形外科学会 https://www.joa.or.jp/
- ④「東邦大学・医中誌 診療ガイドライン検索データベース」http://guideline.jamas.or.jp/
- ⑤Minds (マインズ) 公益財団法人 日本医療機能 評価機構。診療ガイドラインのフルテキスト等 情報。http://minds.jcqhc.or.jp/
- ⑥薬の情報 PMDA (医薬品医療機器総合機構) https://www.pmda.go.jp/pnavi-01.htm
- ⑦医中誌Web COVID-19特設ページ https://www. jamas.or.jp/special/covid19keyword

II. ポストコロナ・AI時代の図書館員の役割

「AI時代に無くなる職業」の数値化ランキングが発表され、図書館事務職やサーチャーが高位となった⁴⁾ことは記憶に新しい。さらに、2021年8月3日に一般社団法人日本私立大学連盟(https://www.shidairen.or.jp/)が、「ポストコロナ時代の大学のあり方~デジタルを活用した新しい学びの実

現~」と題する提言を公開した(20200803postcorona. pdf(shidairen.or.jp))。図書館に関しては、大学設置基準「[第38条](図書等の資料及び図書館)を削除する。」(p.12)、さらには「基準で想定されている専門的職員(第38条3)である司書は図書館機能の多様化に伴って、図書館職員に求められる能力も多様化したため、形骸化している。」(p.14)と、踏み込んだ提言や発言がなされている。まさに、図書館と図書館員にとって厳しい目が向けられている状況といえる。本章では、COVID-19パンデミックの長期化を受け、自ら変革を余儀なくされている大学図書館と図書館員の役割について再考するためのヒントとして、国内外の研究や活動を紹介する。

1. EBLIP (根拠に基づく図書館運営)

医療がEBMに基づいておこなわれるように、図書館においては、研究による根拠に基づく図書館運営が実践され、EBLIP(Evidence Based Library and Information Practice:エブリプ)と呼ばれる。毎年、国際会議が開催される(https://www.eblip10.org/)ほか、EBLIP(https://journals.library.ualberta.ca/eblip/index.php/EBLI)は、アルバータ大学図書館によって四半期ごとに発行された査読済みオープンアクセスジャーナルである。興味のある方はご参照いただきたい。

COVID-19感染対策として、再開のエビデンスに苦慮されている図書館もあるだろう。OCLCは、「ReALMプロジェクト」を立ち上げ、図書館・美術館・公文書館の再開や運営に向けて科学的根拠となる研究を発信している。(https://www.oclc.org/realm/home.html)

2. BCP (災害時の事業継続計画)

BCP (Business Continue Plan) は、災害等非常時の事業継続経計画である。大学や企業等の組織は独自にBCPを策定し定期的に見直しを行っている。図書館は一部署として、親機関のBCPを踏襲して策定しておき、平時より閉館以外の手段でサービス提供の継続方法を確保していることをBCPとしてアピールすることも必要であろう。

3. ビジネス・フレームワークの活用:マーケティング

図書館の広報やサービスを考える上で、以下の 視点からの利用者マーケティングは必須である。 ・セグメンテーション:潜在利用者の分類と特徴 を整理する。・ターゲティング:利用者の特性・ 目的を整理する。・ポジショニング:教育・研究 における図書館の立ち位置を明確にする。

コトラーによれば、マーケティングは4.0 (スマ ホ時代・自己実現)世代を迎えており、課題解決 (モノからコト・ヒトへ)へとシフトしている。研 究成果のオープンアクセス化により、いわゆる BtoC, BtoBから、消費者間のやり取りであるCtoC へと、図書館を仲介せずに情報流通がおこなわれ るようになった。図書館がどのようなポジショニ ングを取れるか、ここでは図書館でも応用できる 「ペルソナ・シナリオ法」を紹介する。これはソフ トウェア開発の手法から始まり、マーケティング や商品開発に活用されている。ユーザーのゴー ル、態度、意識、行動などの典型的なパターンを 導き出し、ユーザーを代表するモデルとしての仮 想の個人を作るユーザーモデリングの手法であ る。具体的に利用者を想定し、年齢・趣味や生活 スタイルに沿って、時系列で行動パターン (UX: ユーザー・エクスペリエンス)を予測する。そこ に個別の図書館サービスを当てはめて、満足度を 測り課題や過不足を把握してカスタマージャー ニー・マップ(図7)を作り、ユーザーの課題を 解決する。

ビジネス・フレームワークの図書や情報は多く 提供されており、図書館でもEBLIPのために活用 できるだろう。

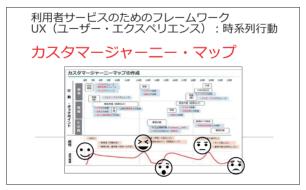


図7:カスタマージャーニー・マップの例

4. 図書館員の様々な役割とキャリアデザイン論

多くのキャリア論があるが、エドガー・シャインにより提唱された理論として、キャリア・アンカー ⁶⁾ があり、自分のキャリアを選択する際に重要視する8つの要素を提示している。①専門・職能別コアコンピタンス ②自立・独立 ④保障・安定 ⑤起業家的創造性 ⑥奉仕・社会貢献 ⑦純粋な挑戦 ⑧生活様式。

図書館員の役割には、1970年代からのサブジェクト・ライブラリアン、リエゾン・ライブラリアン(複数の機関が共同で専門の司書を雇用し業務シェアする仕組み)等が知られるが、資料の電子化に伴い、利用者に溶け込んでサービスを行うエンベディッド・ライブラリアンや、医療チームの情報専門家としてのインフォメーショニスト、さらに経営に参画するリーン・ライブラリアン等、新たな役割が登場している。特に、研究データ管理計画の策定に伴い、大学図書館においてデータ・ライブラリアンは重要な役割となることが期待される。

5. 図書館のバリュー・スタディ(価値研究)

図書館の第三者評価には、LibQUAL+(ライブクオル)等がある。また、英米の大学図書館では危機意識が強く、図書館の価値を発信するバリュー・スタディが盛んにおこなわれてきた⁷⁾。今後、大学図書館に期待される役割としては、前述のデータ・マネジメントのほか、リーン・マネジメントの一環として、経営に資すること、すなわち

- ①学生の入学、在籍、卒業
- ②学生の成功、成績
- ③教員の研究生産性
- 等への貢献度が挙げられよう。

これらの具体例として考えられるのは、

- ①図書館サービスを利用した学生としない学生間にGPAの数値に違いがあるか?
- ②深夜開館と学生成績、在籍率の相関があるか? 等をリサーチ・クエスチョンとして調査研究を

行い、数値化することで説得力も増し、EBLIP にも通じるだろう。

6. おわりに

Lanksは「ダメな図書館は蔵書構築に留まる。普通の図書館は蔵書によるサービスをする。優れた図書館はコミュニティをつくる。」と述べている⁸⁾。COVID-19パンデミックは、図らずも電子リソースの普及を促すとともに、場としての図書館の在り方や図書館員の役割に、外部からも強く再考を促す機会となった。これは図書館と図書館員自身が、パラダイムシフトを起こすことができる、貴重なチャンスが到来したということもできるのではないだろうか。「図書館は成長する有機体である」というランガナタンの言葉の意味をかみしめつつ稿を終える。

【謝辞】

このような貴重な機会をいただいた事務局の皆様、ご参加くださった皆様に感謝します。

【参考文献】(Webサイトはすべて2021-8-10参照)

- 1) Sørensen K, et al. Health literacy and public health: a systematic review and integration of definitions and models. BMC Public Health. 2012;12:80.
- 2) ヘルスリテラシー・健康教育の新しいキー ワード 大修館書店 2016
- 3) Sackett DL, et al. Evidence based medicine: what it is and what it isn't. BMJ 312 (7023): 71-2.1996. doi:10.1136/bmj.312.7023.71
- 4) Frey, Osborne. 2017; The future of employment: How susceptible are jobs to computerization? Technological forecasting and social change. 114, 254-280.
- 5) コトラー, フィリップ. 藤井清美訳. コトラー のマーケティング4.0; スマートフォン時代 の究極法則. 2017. 朝日新聞出版.
- 6) シャイン. キャリア・アンカー―自分のほん とうの価値を発見しよう (Career Anchors and Career Survival) 2003; 白桃書房.
- 7) 例を挙げる: Oakleaf, Megan. The Value of

Academic Libraries.ACRL, 2010. http://meganoakleaf.info/VALreportRCCforum.pdf.

大学図書館の価値と評価 (加藤 信哉). 第2回みちのく図書館情報学研究会. 2013年 12月28日 (土) 東北大学 2013 http://hdl.handle.net/2241/120511

8) Lankes RD, 2012.3.11. https://davidlankes.org/beyond-the-bullet-points-bad-libraries-build-collections-good-libraries-build-services-great-libraries-build-communities/

CAN私立大学コンソーシアム 20年間の活動の記録

- 中部大学附属三浦記念図書館(C)
- 愛知学院大学図書館情報センター (A)
 - 南山大学図書館(N)

はじめに

CAN私立大学コンソーシアム(以下、CAN)は、中部大学・愛知学院大学・南山大学(以下、3大学)の3大学の図書館で結成された図書館活動のコンソーシアムである。"できることをできるところから(CAN:キャン)"をモットーに、3大学の図書館が同じ目的や利益を達成するために共同での活動を続けてきた。活動開始から20年目を迎えたこの機会に紙幅の許す範囲でその活動を記録してみたい。

1. 設立の経緯

設立の経緯については、2004年10月9日に大谷 大学で「大学図書館の共生と特化」をテーマに開 催された私立大学図書館協会西地区部会研究講演 会において、足立祐輔氏が「CAN私立大学コン ソーシアムの活動―地域型大学コンソーシアム構 築とその可能性―」と題した研究発表を行ってお り、その中で触れられている。それによれば、私 立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会の下 部組織である相互協力委員会の委員であった中部 大学・愛知学院大学・南山大学の3大学図書館 で、データベース「MathSciNet」の共同購入を契 機に「できることをできるところから」という趣 旨で発足したとある。当時普及が始まったデータ ベースにコンソーシアム価格が設定されていたこ とから、共同購入を目的としていくつかの図書館 コンソーシアムが設立したようである。

3大学は、東海地区に位置する私立大学であるが、中部大学は春日井市に、愛知学院大学は日進市に、南山大学は名古屋市昭和区にと、市を跨って位置しているため、近隣とは言い難い。また名古屋第一工学校を前身として1964年に創立した中

部大学、曹洞宗専門支校を前身として1953年に創立した愛知学院大学、名古屋外国語専門学校を前身として1949年に創立したカトリック修道会を母体とする南山大学というように、その成り立ちも様々である。どうしてこの3大学で発足することになったのか、今となっては分からないことも多いが、強いて言えば、成り立ちは様々に異なるものの、明確な建学の理念や精神に基づいて創立した私立大学で、おおよそ同規模の図書館であるということになるのかもしれない。

当時、東海地区の図書館関係者の間でもコン ソーシアムが話題になっていたことから、3大学 のCAN担当者が「まず、種を植えてみましょう」 ということになったようである。そして2000年度 のデータベースの共同購入に続いて、2002年度よ り図書館間の利用者サービスを開始。これも、 1995年に結成された「多摩アカデミックコンソー シアム」や1998年に結成された「山手線沿線私立 大学図書館コンソーシアム」などの日本における 代表的な図書館コンソーシアム活動に倣ったもの であろうと思われる。当初は3大学の他にも加盟 館を募ることを想定しており、「CAN」という言 葉が排他的な印象を与えるのではという議論も あったようであるが、むしろ"できることをでき るところから"というモットーを表したものとい うことで、名称として落ち着き、結果として、設 立当時の3大学だけで20年間活動を続けることに なったのである。

CANの活動は当初の目的であったデータベースの共同購入が2011年度で終了して以降は、図書館間の利用者サービスと、毎年担当者の間で協議・企画・実施している共同事業を二つの柱として現在に至るまで継続している。

2. CAN活動の記録(相互利用)

CAN私立大学コンソーシアム加盟館間における相互利用は、2002年4月から始まり、現在も継続中である。まずは、現物貸借と直接来館利用について、主に以下のようなルールを決めてスタートを切った。

- ・加盟する3大学の学生および教職員は、それ ぞれの図書館を紹介状なしで自由に利用した り、資料を借りることができる。
- ・現物貸借の費用は、発送料を大学が負担し、 利用者にかかる費用は無料とする。
- ・CANで取り寄せた資料は館外貸出可とする。
- ・利用者の所属大学の図書館で貸出・返却ができる。
- ・貸出期間の更新は予約状況が確認できないため認めない(※後に更新可となった)。
- ・貸出冊数や貸出期間などの規則は、各大学図 書館の規則に従うこととし、共通の規則は作 らない。
- ・各大学図書館への返却期限日から1ヶ月以上経っても資料が返却できない場合(利用者の資料紛失や延滞等)は、現物弁償または代金弁償のいずれか相手館が望む方法で借受館が弁償することとする。

運用開始前の検討段階においては、3大学間の 定期便導入も検討されたが、カラ便を走らせるこ とになる懸念から見送りとなり、送料はその都度 発送館が負担することとなった。

初年度の現物貸借の利用数は期待していた数よりも少なかったが、各館のホームページに掲載、チラシやポスターの作成、オリエンテーションでのPR、広報グッズの作成(しおり・A4サイズ紙ファイル)などを続けた結果、徐々に利用者にも浸透していった。2011年に愛知学院大学が行った図書館利用実態調査の「CANによる貸し出しサービスを知っているか」というアンケートでは、51%が「知っている」と回答があった。なお、2002年~2019年の全体の現物貸借(受付・依頼の合計)に占めるCANの利用比率は約4割であるが、2015年以降はほぼ5割を占めるまでになっている。

一度CANで現物貸借を申込んだ利用者は、取り

寄せ料が無料であること、館外貸出が可能である ことなどの利点からか、リピーターになる傾向が 見受けられる。

サービス開始当初は、現物貸借の依頼はFAXでのやり取りであったが、翌年の2003年度からはNACSIS CAT/ILLで現物貸借の依頼ができるようになった。

また、2009年には各館で今後の選書の参考とするため、年間2回以上依頼(更新も含む)があった資料を「特定資料」としてリスト化し、毎年報告することを取り決めた。

貸出期間の更新については、利用者からの希望が多く寄せられたこともあり、2003年度から依頼館に他の利用者の予約が入っていないか等を確認した上で、2週間の延長を1回のみ認めることとなった。

一方、相互利用の対象外であった文献複写は、2009年度からサービスを開始した。開始当初は1枚40円+送料は利用者負担という料金設定であったが、2013年10月からは、1枚10円に料金改定した(送料利用者負担は変わらず)。

直接来館利用の2002年~2019年の平均利用者 数は約59人/年、平均貸出冊数は約132冊/年であった(いずれも3大学合計)。

直接他館の窓口で借りた資料も現物貸借で取り寄せた資料も、利用者の所属する大学図書館で返却を受付けており、所蔵館に配送返却する際にどちらの資料なのか区別がつきにくいという問題があった。そこで、直接来館で貸し出した資料には「CAN直接来館資料返却書」を添付することを取り決めるなど、運用上で発生した課題は3大学で協議・検討し、試行錯誤しながら相互利用サービスに努めている。

なお、2002年度から2019年度までの実績は別表 1のとおりである。

3. CAN活動の記録 (共同事業)

データベースの共同購入や相互利用の体制が整った2002年頃から、その他の共同事業についての検討が始まったようである。資料の分担収集や分担保存の提案もあったようであるが、そのよう

な規模の大きい事業は担当者間で協議・調整することは難しく、制度として取り入れるよりも情報交換を行なうことによりどの大学がどのような分野が強いのかを把握して、相互利用に役立てるといった緩やかなものにした方が当面よいのではということで落ち着いたようである。そこでCAN担当者の間で比較的調整しやすい内容に共同事業の的が絞られ、2003年度から人的交流として、まずは各大学持ち回りで図書館職員1日研修が開始された。この研修はCAN私立大学コンソーシアム協定に基づき、CANの連携を円滑にし、CANの活動を活性化することを目的に実施された。研修実施に向けて参加者の研修希望内容を確認し、また参加者は報告書を作成することを決め相互派遣を行った。この研修は2006年まで続けられた。

2004年には、CANの広報のため、3大学共通のポスターが作成された。3大学の頭文字からとったC・A・Nをデザインに組み込み、CANについての説明がされたデザインとなった。



CAN共同ポスター

2007年、合同でCANパスファインダーを作成する事を決定し、他大学作成のパスファインダーを収集、分析、評価を行い、2008年にはCANパスファインダー作成の方向性を検討、大学ごとにテーマを決めて2009年から公開された。

2009年の取り組みとして、オンライン・ストレージサービス (SkyDrive) の施行を開始した (本運用は2010年4月からとなった)。

2010年の取り組みとして①3大学で広報グッズ

の作成、②学生の3大学見学ツアー、③3大学共同での選書ツアーの提案の中から、①の広報グッズの作成に決定し、3大学持ち寄ったデザインの中から紙ファイル、しおりのデザインを決定した。

2011年10月にはCAN10周年を迎え、記念事業として、3大学4図書館長ミニ講演会を開催し、3大学横断検索サイトが完成した。2010年から運用されたSkyDriveについては廃止の方向で進められた。

2012年には紙ファイルを作成することになった。また、3大学間の文献複写料金の変更について検討された。

2013年は電子(デジタル)化した媒体をいかに 利用していくかをメインに"論文・文献の電子化 とデータベース構築"というテーマで研修会を開 催した。

2014年にはCANマスコット キャラクターを作成した。3大 学がキャラクター案を持ち寄 り、検討の結果、中部大学の学 生がデザインした"キャンちゃ ん"に決定した。この"キャン ちゃん"はCAN関係の広報で利 用される事になった。



キャンちゃん

同年、貴重図書内覧会を3大学持ち回りで行う事を決定した。2014年は、愛知学院大学において、ウィリアム・モリスの貴重書53種全て揃ったため、"ウィリアム・モリスの手がけた西洋の美しい本"と題して展示内覧会を開催した。見学前日には3大学の図書館員を対象に9名が実務体験中心の半日展示研修を行った。

2015年には、南山大学において"リチャード・レインコレクション・展示と講演の会"が開催された。レイン氏は日本文化、特に浮世絵を中心とした近代日本絵画の研究者で、レイン氏の著書『浮世絵百貨図典』の基礎資料の一部であったと考えられる仮名草子、浮世草子、黒本・青本、絵本番付など113点の所蔵コレクションの一部を展示し、この分野の専門家である木村八重子氏に講演をお願いした。講演会終了後、展示物の見学会を行った。



2015年度共同事業 "リチャード・レインコレクション・展示と講演の会"

2016年には、中部大学の茶室(工法庵・洞雲亭・爛柯軒)の見学および、内藤元館長による、カメラのコレクションの展示案内が開催された。

2017年には、CANの活動が17年となり、20周年の記念事業に向けて、3大学のCAN担当者が記録をまとめ、CAN会議で発表することになった。

2018年には、3大学の学生を募り、学生主体のブックパーティーを愛知学院大学図書館情報センターラーニング・コモンズにおいて開催した。ブックパーティー終了後には、各大学でポスターを作成し、CAN活動報告として掲示を行った。

2019年にも、ブックパーティーを開催、学生自身がPOPを作成し、ブックパーティー終了後に中部大学、愛知学院大学、南山大学の順番で本と共に展示を行った。

2020年10月にはCANが20周年を迎えるが、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度第1回会議はZOOMを利用した遠隔会議となった。

なお、2000年度から2020年度までの共同事業および事務局は別表2のとおりである。

4. CAN活動の現在

CANは事務局を2年ごとに交代し、当初は事務局を担当する大学を会場として年間5回程度の会議を行ってきたが、現在は年間2~3回程度の集まりに落ち着いている。また、その年の最後の会議の後には各館の館長を交えて意見交換会を行うことがこのところの恒例になっている。各大学の

図書館長や担当者が交代しても毎回和やかな会に なり、これも地道な活動を長きに亙って共に続け てきたという安心感からかもしれない。

また、中部大学と愛知学院大学がこのところ学生との協働活動を活発に行ってきたことから、2018年度と2019年度の共同事業は各館の学生を巻き込んだ活動を行なった。共同事業の新たな試みではあったが、新型コロナウイルス感染症の対応のため、今後の共同事業をどのような方向性で展開していくのかについては協議を続けていく必要があるであろう。

おわりに

この活動報告書は、足立氏を中心に2017年度の CANの共同事業としてまとめた活動記録を基に、 2020年度の担当者6名(中部大学:大嶋亜希子・ 堂ノ脇浩二、愛知学院大学:南谷晴美・赤根のり 子、南山大学:石田信・加藤富美)が当該年度の 共同事業として改めてまとめ直したものである。 これは20周年を迎えたら、ぜひどこかでCANのこ れまでの活動について報告してほしいという足立 氏の言葉に励まされてのことである。

20年の間にCANの会議に参加した3大学の担当者は50名を超える。この小さな活動が20年も続いてきたこと、そしてこれまで多くの人々がかかわってきたことに改めて驚かされる次第である。

「コンソーシアム」と名乗ることすら恥ずかしいような小さな共同体であるが、"できることを、できるところから"という当初からのモットーを忘れずに、今後も活動を続けられることを願っている。

末筆ながら、貴重な誌面に、CANの20年間の活動記録を掲載させていただきましたことを感謝申し上げます。

参考・引用文献

・「CAN (キャン) 私立大学コンソーシアムの活動:地域型・大学コンソーシアム構築とその可能性」足立祐輔(私立大学図書館協会会報)124, p.160-168, 2005.9

〈別表1〉

●現物貸借受付件数 2002年~2019年

中部大学受付件数

依頼校	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
愛知学院大学 (日進)	60	67	27	46	56	79	146	72	45	65	37	35	83	74	88	96	59	65
愛知学院大学 (楠元)	_	_	0	2	7	3	4	6	1	1	8	11	14	31	16	19	24	22
南山大学 (名古屋)	41	45	72	56	49	112	69	91	78	62	42	59	78	70	63	98	47	43
南山大学 (瀬戸)	14	20	26	41	31	31	20	15	13	13	10	7	4	9	5	_	-	_
合 計	115	132	125	145	143	225	239	184	137	141	97	112	179	184	172	213	130	130

愛知学院大学(日進・楠元)受付件数

依頼校	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中部大学	18	31	58	34	61	41	31	43	16	29	12	38	36	56	42	39	47	64
南山大学 (名古屋)	14	41	68	86	42	77	77	83	73	35	46	44	71	54	38	50	35	23
南山大学 (瀬戸)	5	7	35	29	48	17	12	14	8	11	23	2	6	8	0	_	_	_
合 計	37	79	161	149	151	135	120	140	97	75	81	84	113	118	80	89	82	87

南山大学(名古屋・瀬戸)受付件数

依頼校	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中部大学	21	28	48	46	79	87	75	52	59	77	44	52	51	63	89	66	72	87
愛知学院大学 (日進)	24	52	37	73	83	92	169	104	58	96	82	103	64	112	136	105	93	86
愛知学院大学 (楠元)	_	_	0	15	9	16	10	9	2	5	2	13	18	15	7	6	13	17
合 計	45	80	85	134	171	195	254	165	119	178	128	168	133	190	232	177	178	190

3大学合計

	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
総 計	197	291	371	428	465	555	613	489	353	394	306	364	425	492	484	479	390	407

●文献複写受付件数 2013年(10月) ~ 2019年

中部大学受付件数

1 1167 () 21	1112	~					
依頼校	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
愛知学院大学 (日進)	32	73	41	52	38	28	40
愛知学院大学 (楠元)	5	9	11	4	4	5	7
南山大学	53	82	92	116	121	125	69
合 計	90	164	144	172	163	158	116

愛知学院大学(日進・楠元)受付件数

依頼校	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中部大学	14	47	61	22	56	38	50
南山大学	23	71	58	49	71	73	60
合 計	37	118	119	71	127	111	110

南山大学(名古屋・瀬戸)受付件数

113 123 / C 3	(E 1/12	4) /	~13	11 2/		
依頼校	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中部大学	18	60	50	55	76	42	36
愛知学院大学 (日進)	49	76	76	61	50	38	77
愛知学院大学 (楠元)	0	1	0	0	1	0	0
合 計	67	137	126	116	127	80	113

3大学合計

依頼校	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
総 計	194	419	389	359	417	349	339

〈別表 2 〉

注) 事務局 C:中部大学

A: 愛知学院大学

N:南山大学

●共同事業 2000年~2020年

年度	共同事業	DB共同購入	事務局
2000	MathSciNetコンソーシアム・ライセンスの契約(~ 2011)	MathSciNet	A
2001		MathSciNet	А
2002	CAN(Web)横断検索(〜現在) 各館Webページへのコンソーシアム案内の掲載(〜現在) 相互利用(〜現在)	MathSciNet	A
2003	CSA Sociological Abstracts CANコンソーシアム→オープンコンソーシアム EBSCO host ASE CANコンソーシアム→オープンコンソーシアム 図書館 1 日職員研修(職員の相互派遣) (2003 ~ 2006)	MathSciNet	A
2004	図書館1日職員研修(職員の相互派遣)(2003 ~ 2006) CANポスターの作成 *私立大学図書館協会西地区部会研究講演会発表「CAN私立大学コンソーシアムの活動―地域型大学コンソーシアムの構築とその可能性―」(愛知学院大学閲覧係長 足立祐輔氏発表、大谷大学、2004.10.9)	MathSciNet	С
2005	図書館1日職員研修(職員の相互派遣)(2003 ~ 2006) *中部大学通信ウプト No.155(2005.7)にCAN関連記事掲載	MathSciNet	С
2006	図書館1日職員研修(職員の相互派遣)(2003 ~ 2006)	MathSciNet	N
2007	パスファインダーの作成 (2007 ~ 2010)	MathSciNet	N
2008	パスファインダーの作成(2007 ~ 2010) CANロゴの作成	MathSciNet	A
2009	パスファインダーの作成(2007 ~ 2010) オンラインストレージサービス(試行)	MathSciNet	A
2010	パスファインダーの作成($2007\sim 2010$) オンラインストレージサービスの利用($2010\sim 2012$) 広報グッズ作成(紙ファイル・しおり)	MathSciNet	С
2011	オンラインストレージサービスの利用 (2010 ~ 2012) 10周年記念 3 大学 4 図書館長ミニ講演会「学問と読書」(2012.1.21)(会場:中部大学) 広報グッズ作成(しおり)	MathSciNet	С
2012	オンラインストレージサービスの利用($2010\sim2012$) 広報グッズ作成(紙ファイル) CANポスターの作成	_	N
2013	文献複写サービスの加盟館料金改定(2013/10/1 〜現在) 研修会「論文・文献の電子化とデータベース構築」(講師:愛知学院大学歯学部河合達 志教授、愛知学院大学、2014.2.28)	_	N
2014	CANマスコットキャラクター作成「キャンちゃん」 研修会「ウィリアム・モリスが手がけた西洋の美しい本」(愛知学院大学、2015.2.27)	_	A
2015	研修会「リチャード・レインコレクション – 展示と講演の会 – 」(講師:木村八重子氏、南山大学、2015.9.30)	_	А
2016	見学会「工法庵・洞雲亭・爛柯軒他」(講師:中部大学工学部内藤和彦教授、中部大学、2016.10.21) パスファインダーを共同事業としては一旦終了	_	С
2017	CAN活動のまとめ	_	С
2018	CANブックパーティー(愛知学院大学図書館情報センター、2018.9.22)	_	N
2019	CANブックパーティー(中部大学附属三浦記念図書館、2019.9.24)	_	N
2020	CAN活動のまとめ	_	А

映画資料展「Moving Text ―映画資料を読む―」開催報告

静岡文化芸術大学図書館・情報センター 土 屋 麻 子

はじめに

静岡文化芸術大学(以下、本学)では、2013年3月、静活株式会社から、雑誌、映画パンフレット、脚本、図書等合計約5,000点の映画関係資料の寄贈を受け、約7年間図書館・情報センター(以下、当館)にて整理業務を行ってきた。整理業務を行うなかで、2018年12月、日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムへの所蔵調査¹⁾依頼に協力し、2021年2月には『全国映画資料館録2020』²⁾に当館が掲載された。これらの活動を経て、2021年3月、本学ギャラリーにて、映画資料展「Moving Text ―映画資料を読む―」を開催した。

本展覧会は、「令和2年度静岡文化芸術大学イベント・シンポジウム等開催費」の採択を受け、本学デザイン学部、文化政策学部教員3名の企画・運営総括の下、当館の職員、デザイン学部実習指導員と協働で準備し実施したものである。会期中は本学関係者や地域の方々をはじめ、全国から映画を専門とする研究者や制作関係者にもご来場いただき、展示資料だけでなく、より詳細の資料を見たいという意見も寄せられた。

本稿では、第1章で展覧会を企画した意図を述べる。第2章では展示計画を説明し、第3章で展覧会概要を報告する。第4章では来場者の声をアンケート結果を踏まえて紹介する。

1. 企画意図

1.1 静活株式会社と映画資料寄贈の経緯

本学へ映画資料を寄贈した静活株式会社(以下、 静活)は、1919(大正8)年、静岡市七間町に静 岡活動写真株式会社として創業し、1958(昭和33) 年には静岡市中心部で14館の映画館を経営してい たが、2011(平成23)年10月、静岡市内のすべて の映画館をシネマ・コンプレックスへ移行した。 これを機会に、静活が所蔵していた多数の映画関 係資料は、本学だけでなく、映画を専門とする全 国の公的機関へ寄贈された。

本学で寄贈を受けた映画資料は、1930年代から2000年代までに制作された雑誌53タイトル約3,500冊、映画パンフレット約1,400冊、脚本277冊、図書50冊、映画フライヤー176枚、映画鑑賞券135枚、合計約5,000点に及ぶものであった。

1.2 資料の背景

資料の整理はその種類の多さゆえに難渋したが、 作業が進むにつれ、いくつかの発見があった。

第一に、浜松にゆかりのある映画人で映画編集者の浦岡敬一³⁾ が関わった作品の脚本、映画パンフレットが一定数あること。第二に、脚本には、作品の企画段階から決定稿にいたるまで複数のバージョンがあり、使用者の書き込みのあるものが散見されること。第三に、映画パンフレットには、制作された年代によっては、ひとつの作品においてデザインや掲載内容の異なるものが存在すること。第四に、静活での上映作品群だけなく、都内ミニシアターで上映され発行した映画パンフレットが多数存在すること。第五に、1950年代の日本映画作品の資料が殆ど見当たらないこと。以上の5点である。

資料を何度も見ているうちに、発見が疑問へと変わり、それを解決するために調査が始まる、という日が続いた。整理作業が終盤にさしかかった頃、私は、これらの資料を、学内で映画愛好者が個人の楽しみとして閲覧するだけでなく、映画や映像表現に関わる学生、研究者、一般の方々へ公開し、地域の文化資源として共有することが大切

だと考えるようになった。また、脚本や映画パンフレットの目録作成が難航したことから、全国の映画関係機関や映像アーカイブ組織へ当館の映画資料収蔵を告知し、資料の保存と活用のために連携してネットワークを構築することが必要だと感じた。

以上の経緯から、寄贈映画資料を学内外へ公開する「教職協働の展示計画」がスタートした。

2. 展示計画

2.1 予算

当館には、展示やイベント開催の予算がないため、展覧会を開催するために必要な経費は、デザイン学部教授である図書館・情報センター長(当時)に相談し、「令和2年度静岡文化芸術大学イベント・シンポジウム等開催費」に申請することとなった。その結果、400,000円で採択が決定した。

2.2 体制

2020年2月、予算獲得のために展覧会プロジェクトを結成した。構成員は図書館・情報センター長(当時)であるデザイン学部教授(メディア・アート、インタラクションデザイン)のほか、デザイン学部講師(映像表現)、文化政策学部教授(文化社会学、メディア論)が展覧会の企画・運営を総括し、資料の選定と管理について筆者を含む当館の職員2名が担当することとなった。

事業採択決定後、上記メンバーの他、展覧会の デザイン全般を担当するチームが編成され、最終 的に展示体制は以下のような構成となった。

- ・企画・運営総括:池田泰教(デザイン学部講師、実施代表者)、加藤裕治(文化政策学部教授)、的場ひろし(デザイン学部教授)
- ・資料選定・管理: 土屋麻子、井出直樹 (図書 館・情報センター [大学事務局情報室図書係])
- ・グラフィックデザイン:博多哲也(デザイン学 部実習指導員)
- ・空間構成:高部亘、根木隆之(デザイン学部実習指導員)、池田泰教(前掲)

2.3 目的

1.2 資料の背景で述べたことと重複するが、展覧会の目的は以下のとおりである。

- ・図書館・情報センターに収蔵された映画資料を 学内外へ公開することで、学生や研究者のみな らず地域へ学びの場や大学と交流する機会を提 供すること。
- ・本学図書館・情報センターへの映画資料収蔵について、国内の映画関係機関や映像アーカイブ 組織へ告知し、資料の保存と活用の連携を図ること。
- ・展覧会をとおして学内での図書館・情報セン ターの存在意義を高め、大学の広報へつなげる こと。

2.4 構想

7月上旬から始まったプロジェクトメンバーに よるミーティングでは、展示内容について何度も 話し合いが行われ、展示コンセプト、展示タイト ルは池田の発案により、以下のように決定した。

「雑誌、パンフレット、脚本、映画館プログラムなど様々な媒体の映画資料を、解釈が固定された懐古的なものと捉えるのではなく、今もなお読み手との関わりのなかで変化や運動を続ける"動いているテキスト"として見直すことで、作品の新たな価値を見出し、それに伴う豊かな表現を発見する。」展示タイトルは「Moving Text ―映画資料を読む―」とする。

また、このコンセプトに沿って、次のアイデアが取り入れられた。

- ・鑑賞者が展示資料 (テキスト) を自由に手に 取って読むことができるようにする。
- ・図書館とは異なる空間(展覧会)でテキストを 読む体験が、映画作品への造詣を深め、鑑賞者 の自発的な学びにつながるように、会場周辺に 関連書籍を置き、図書館の蔵書へナビゲートす る仕組みを取り入れる。
- ・展示什器は既存のものを使用せず、上記コンセ プトに合致したものを制作する。
- ・会期中、会場の近くで映画関係者の講演会を開催し、一般の聴講を可能とする。

2.5 展示テーマと個々の役割

展示コンセプト決定後、ミーティングでは、個々の作業の進捗状況について情報の共有を図りながら、展示テーマと展示資料数について意見交換が行われた。展示テーマは、セクション1「地域と映画文化」、セクション2「映画パンフレットの世界」、セクション3「制作の舞台裏」に決定し、筆者を含め当館の職員が映画館プログラム、映画パンフレット、映画脚本120点の展示資料を選定した。

このうち、セクション1「地域と映画文化」、セクション3「制作の舞台裏」で展示した資料の一部は、県内の映画資料所蔵機関である静岡県立中央図書館、木下惠介記念館、特定非営利活動法人トータルケアセンター「浦岡敬一のシゴト部屋」から借用した。

また、デザインチームの4名が、会場の空間設計、展示什器・木製ストゥールの制作、解説スクリーン、キャプション、展示目録(ハンドアウト)、DM、大学ホームページへ掲載する展覧会情報の作成等グラフィックデザイン全般について担当した。

会期中のイベントは、金沢のミニシアター、シネモンド代表・一般社団法人こども映画教室®代表理事の土肥悦子氏に講演を依頼し、併せてプロジェクトメンバーの教員 2 名とのトークセッションを行うことを決定した。(要申込・定員制)

広報活動では、事務局地域連携室の協力を得て展覧会情報のプレスリリースを各新聞社に配布した。地元タウン誌『浜松百撰』への記事の掲載、静岡県図書館協会加盟館、東海地区大学図書館協議会加盟館、浜松市文化協会、映画関係機関等へのDM発送等による情報提供、協力名義の依頼、資料借用手続き、展示に関わる著作権処理は、すべて当館の職員が行った。

トークイベントの会場設営、記録、配信、展覧 会受付業務は、事務局地域連携室と本学学生の協力を得て行った。

また、会場での新型コロナウイルス感染症拡大 防止対応として、来場者へマスク着用とアルコー ル消毒、入場時の検温を依頼するほか、一部保護 の必要な資料を除き、展示資料を手に取って鑑賞 していただくために、受付で使い捨て手袋を配布 し着用をお願いすることとした。

3. 展覧会概要

会期:2021年3月4日(木)~4月6日(火) 11時~18時

休館: 3/7、3/11~13、3/22~23

場所:静岡文化芸術大学 ギャラリー

主催:静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

協力:静活株式会社、静岡県立中央図書館、木下 惠介記念館(浜松市旧浜松銀行協会)[指定 管理者:浜松創造都市協議会・東海ビル管 理グループ]、特定非営利活動法人トータ ルケアセンター「浦岡敬一のシゴト部屋」

什器設計:LAP(laplab.jp)

制作協力:ファブラボ浜松テイクスペース

企画・運営総括:池田泰教、加藤裕治、的場ひろし

資料選定:土屋麻子、井出直樹 グラフィックデザイン:博多哲也

空間設計: 髙部亘、根木隆之、池田泰教

3.1 展示空間

展示資料は、セクション1の映画館プログラム 以外は、原則一資料に一台の什器(木製ストゥール)を使用し、什器は大きさや高さを変え、資料 は平置きするものと立てるものを混在させた。什 器の上に立てて展示する場合はアクリル製のブッ クスタンドを使用し、資料を開いた状態に固定す る補助具は天竜川の石を使用した。鑑賞のルート はあえて明示せず、鑑賞者が自由にテキストを読 む雰囲気を創出した。

3.2 展示内容

セクション1 地域と映画文化(**図1**) 4)

1930年代から1950年代の静岡市内での映画受容を知る手がかりとして、静活が経営していた映画館の上映館プログラムを中心に展示した。

また、静活の創業から映画館を閉鎖した2011年 までの映画館の歴史を、当時の写真と共に年表を 作成して表現した(**図2**) 5)。この時期に静活が

サ地 域と映画文化 1930年代から1950年代にかけての静刻市内での映画 交響を始める声がかりとして、影演技術会社が演賞して いた映画放実料をご覧いただきます。 野通味大会社は1919年、新列風地変表表状会社として 創業し、1950年には特別市中心都で14億の映画館を 超質していました。1950年代には河風帯打造 キャマ原、 電気板、複模板点。主機、明治症を経過、1950年代 以降にはオリオン連、移江今館、特活有金倉等多数の 映画を関連しています。1962年には七間町を命心と する時間から地で272 スタリーンが存む。12 にした。 この時間には上映作品や重整情報を発達するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するための 映画が7のタント[編集機団を発音するためできます。

図1 解説スクリーン§1地域と映画文化



図2 解説スクリーン§1静活映画館の歴史 (静岡地区抜粋)



図3 解説スクリーン§2映画パンフレットの世界



図4 解説スクリーン§3制作の舞台裏



図5 解説スクリーン§3浦岡の加筆脚本

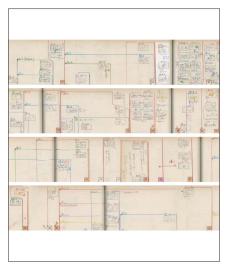


図6 解説スクリーン§3浦岡の加筆の一部

制作・発行していた映画館プログラム『銀幕週報』 には、鑑賞の優待券や近隣の店舗広告が掲載され ており、映画館が地域振興の役割を担っていた様 子がうかがえる。

展示作品:映画館プログラム12点 年表「静活の映画館の歴史」(静岡地区抜粋)

セクション2 映画パンフレットの世界(図3)

寄贈を受けた映画パンフレットには、静活での 封切作品のほかに東京のミニシアターで上映され 発行したパンフレットが多数含まれていた。ま た、ある一定の年代に制作されたパンフレットに は、一つの作品に対して表紙のデザインや中身の 異なるものが複数存在していた。時代の変化とと もに掲載内容も充実する映画パンフレットの魅力 を紹介するために、このセクションでは、会期を 前・後期に分け、展示資料をすべて入れ替えた。

展示前期($3/4 \sim 3/21$)では静活の封切作品を中心に、1950年代から2000年代までに上映された映画パンフレットを年代別に展示した。展示後期($3/24 \sim 4/6$)では、1980年代から1990年代までのミニシアター文化とパンフレットの多彩なデザインに注目し、ミニシアターでの上映作品群と一つの作品で複数の異なる内容のパンフレットを並列して展示した。

展示作品:映画パンフレット 前期:40点 後期:38点

セクション3 制作の舞台裏 (図4)

映画制作で用いられる脚本は、制作過程によって「準備稿」「改訂稿」「決定稿」など各段階で製本される稀なテキストである。今回寄贈を受けた脚本には、制作スタッフの書き込みの跡が残るものが多数あり、これらは、映画制作の過程が垣間見える貴重な資料である。本展では、浜松にゆかりのある映画人、浦岡敬一と木下惠介⁶⁾の作品を中心に展示した。

映画編集者浦岡敬一は、小津安二郎監督作品などの編集助手を経て、1958年『人間の條件』(小林正樹監督、1959年公開)で編集技師となり、その後も『青春残酷物語』(1960年公開)『日本の夜と

霧』(1960年公開)『東京裁判』(1983年公開) など 多くの話題作を担当した。

浦岡の作品では、『優駿 ORACION』(1988年公開)脚本検討稿、準備稿II、決定稿を並列して展示するだけでなく、浦岡の脚本への加筆部分に着目し、新たにスクリーンを制作して展示した(図 5⁷). 6)。

木下惠介の監督作品『二十四の瞳』(1954年公開)は、木下が使用した台本と、同一タイトルの新たな解釈とリメイクの例として1987年に公開された『二十四の瞳』(監督:浅間義隆 脚本:木下惠介)の脚本を併せて展示した。

脚本と映画パンフレット双方がある作品は、セクション2で同作品のパンフレットも展示し、テキストの対比ができるように配慮した。

展示作品:映画脚本 29点

その他、会場出入口付近2か所に、展示資料に 関連した書籍を20冊程度配置した。書籍は来場予 定の映画関係者に関わる著作も含め、適宜入替え を行い、来場者が展覧会鑑賞後自由に閲覧できる ようにした(図12)。

書籍を配置した什器は、展示場内と同様のストゥールを用い、来場者が書籍を読んだり、アンケートを記入する際のテーブルや椅子としても利用可とした。

3.3 講演会とトークセッション

2021年 3 月25日 (木) $13:30 \sim 15:30$ 会場の ギャラリー前のフロアで、土肥悦子氏の講演会と 本学教員によるトークセッションが行われた。

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、一般聴講者の参加の可否については開催間際まで議論が続けられたが、定員20名のところ18名の応募者があり、その他多数の学内関係者の参加もあって、会場は立ち見が出る盛況となった(図13,14)。

地域と映画文化の架け橋となる実践を数多くしてこられた土肥氏の報告に、多くの参加者が刺激を受け、終了後も議論を続ける様子が見られた。

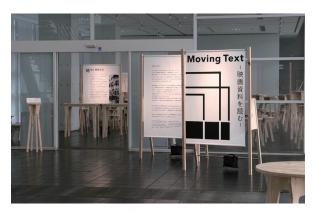


図7 会場エントランス



図11 展示の様子



図8 展示の様子



図12 会場出入口周辺に設置した書籍



図9 展示の様子



図13 講演会とトークセッション



図10 展示の様子



図14 講演会で行われたワークショップの様子

4. 来場者の声とアンケート結果

展覧会開催期間は28日間、来場者数370名、そのうち、アンケート回答者は270名、回収率は73%であった。

年度末の本学学生が春休み期間中の開催となり、当初、集客について難色を示す声もあったが、会期前期($3/4 \sim 3/21$)では、10代、20代の来場者が全体の51%を占め(うち大学生は38%)、本学学生が熱心に鑑賞している様子がうかがえた。アンケートで「とてもよかった」「よかった」と回答した割合は97%に上った(**図15**)。自由記述欄の回答も79%、44%と思いのほか高く、展覧会に好意的な印象を持ったものが多かった。

なかでも、「手にとって触れて読むことが可能という展示形式がおもしろい」「ふだん見られない貴重な資料を手にとって楽しめた」「脚本の加筆、修正など映画制作の過程を見ることができてよかった」「映画パンフレットの比較がおもしろかった」「展示構成、空間構成が良かった」「什器も素敵」「他の資料も見たい」等の感想は数多く寄せられていた。同時に「小さくてもよいのでどのように貴重か(展示資料に)説明がほしかった」「情報発信が弱い」という意見もあった。キャプションの表示やSNSも視野に入れた広報のあり方が、今後の課題として残った。

また、映画関係者の来場は、資料のアーカイブ 化について直接意見を交わす貴重な機会となり、 今後の映画資料の活用について本学と当館への期 待が込められていると感じた。

5. おわりに

映画資料の寄贈を受けたとき、初めてふれる資料も多く、整理業務は苦労の連続であった。しかし、長い期間資料と向き合ったことが、地域に埋もれた新たな資料の発見につながり、『全国映画資料館録2020』掲載への道を拓いた。無駄な作業はひとつも無かった。

会場で「もっと多くの資料を観たいです」という感想をしばしば耳にした。今後、大学や図書館だけでなく、映画関係機関や美術館、博物館等と連携し、当館の蔵書を用いた企画を実現すること

ができれば、より魅力的な地域との交流が可能に なると考えている。

最後に、多忙な業務の合間を縫って共に展覧会 の運営を担ったプロジェクトメンバーとさまざま なお力添えをたまわった関係のみなさまへ深く感 謝し、結びの言葉としたい。

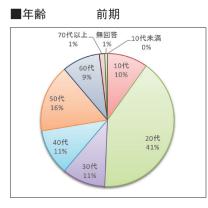
注

- 1) 平成30年度文化庁の委託調査研究事業「文化関係資料アーカイブ構築の調査研究」の一環として、放送局や博物館等の施設に所蔵されている脚本(図書として出版されたものを除く)の実態調査のうち、大学図書館へ依頼されたアンケートによる所蔵調査。一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムが主体となる活動として行われた。
- 2) 国立映画アーカイブ、映像産業振興機構が編集し、文化庁、国立映画アーカイブが発行した冊子。全国の映画資料(ノンフィルム)所蔵館のコレクション内容や展示活動等の情報がまとめられている。2010年版、2015年版もある。2020年版は以下のURLからも全文の閲覧が可能。(2021年8月31日参照)https://www.vipo.or.jp/u/zenkokueigashiryokanroku2020.pdf
- 3) 映画編集者。1930年伊豆下田生まれ、2008年没。 1958年日本映画編集協会(現・日本映画・テレビ編集協会)を発足し、編集者の自立や後進の育成に尽力した。晩年は家族とともに浜松で暮らす。浜松では地元タウン誌『浜松百撰』主催の映像塾で講師を務めた。著書に『映画編集とは何か-浦岡敬一の技法』平凡社、1994年がある。
- 4)11行目 誤:発進 正:発信
- 5) 制作にあたって静活株式会社、株式会社ピー エーシーより資料の提供を受けた。
- 6)映画監督、脚本家。1912年浜松生まれ、1998年没。 2011年10月2日、静活の映画館オリオン座の終幕では、代表作『二十四の瞳』(1954年公開)が上映された。
- 7) 2行目 誤:『人間の条件』正:『人間の條件』

参考文献

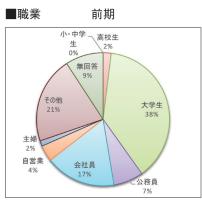
- 1) 佐藤忠男編『日本の映画人:日本映画の創造者たち』日外アソシエーツ,2007.6
- 2) 静活株式会社編『Shizukatsu 100th Aniversary Memorial Magazine』静活, [2019]
- 3) 静岡商工会議所静岡市産業百年物語編纂委員 会編『静岡市産業百年物語』静岡商工会議所, 1968

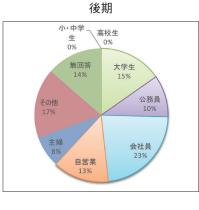
4)「静岡映画館物語」編集委員会編『映画館:わ が青春のスクリーン静岡映画館物語』[「静岡 映画館物語」編集委員会], 2009.3

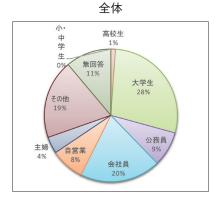




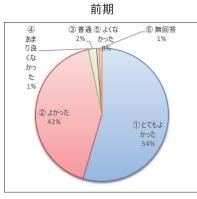


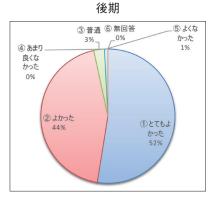


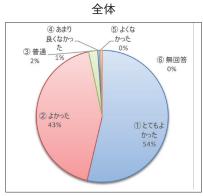




Q2. 映画資料展「Moving Text ―映画資料を読む―」はいかがでしたか?

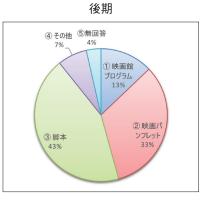






Q4. どの展示が一番印象に残りましたか。





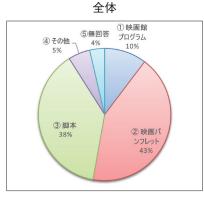


図15 来場者アンケート結果抜粋

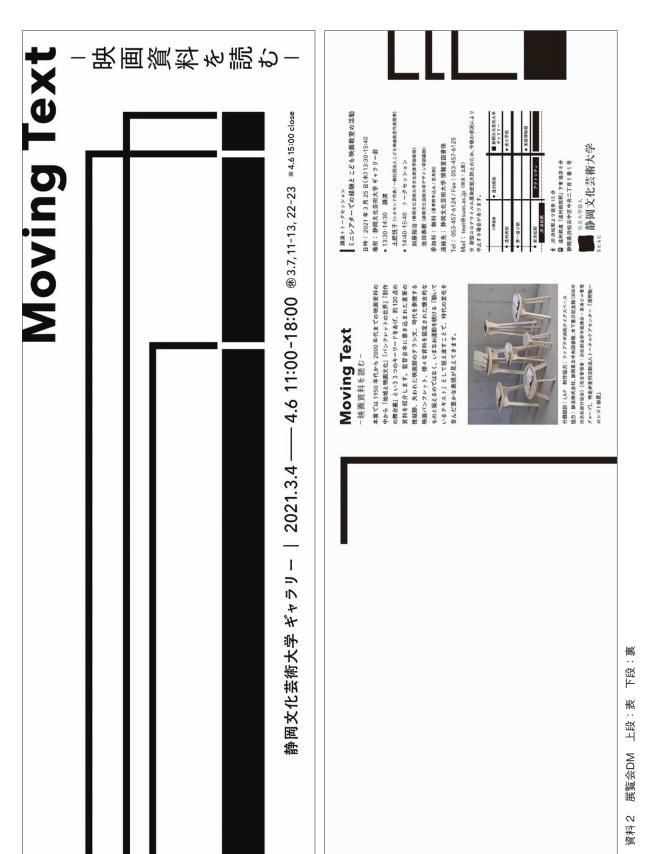
本名 1		
		5 番件: 7ヤード・フィアムター 東海田古都
() () () () () () () () () (5 原本:フォード・フェフトダー 長谷川沿倉 大陽を強くだめ
		6 東米: 米下単介 の 女子母よ 東非県
		6 脚本:
● 本語		
		6. 原来: 治療食業 ・ 機験 〇 CC < 〇 O O O O O O O O O O O O O O O O O O
● (**)		8
		6
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
 (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**)		6
● 歌画 演ぶ かっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ		二 男子:当民業職
● 田田 河川 対 を 記録 なった。 (人) 大きを選択する スペース (人) 大きを選択する スペース (人) 大きを持ちる (人) 大きを持ちる (人) 大きを (人)		5、眼れる美女
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
● 財産 資本を表して、「「「「「」」」を表現して、「「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」の、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」」を表現して、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		大学級の4 大学級の4
■ 野国 河 科 を 記し らっている を でっている で で で で で で で で で で で で で で で で で で で		→<0.
■ ・ 映画資料を読むー		静岡文公芸衛大学 文化・芸術研究センター 主工協
■ ・ 映画資料を読むー		担定管理者: 浜松野波都が協議会・変海どル管理グループ 大下重今記念数 (京松市川沢秋銀行協会) 静岡原立中央図書館 静沼東京会社
■ - 映画資料を読む-		アップラが流むテイクエスース 制作協力 特定本質が設施法人トーチルクアセンター「漢國歌」のフゴト部屋」
<u> </u>		
	MO	
	Mo	
	MOM	
2021 # 2 3.0 4 B (45) - 6.0 6 B (45) BMB ACK SEMPLY # 5 9 9 - BMB ACK SEMPLY # 5 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1	MOM	#(\$). 4 A B B (\$) \$\$ * 9 1 - \$\$ * 9 1 - \$ * 4 Fauces 459 4-125 \$ * 6 P

	_
地域と映画文化	
56 棒の楽画館業化	
2000年度後回避事業機 利200	
-	
-	
_	
16. 映画と演奏回覧機	
2 静岡映画劇場 配布プログラム	
C 静岡磁構道数スクリーンウィークリー 1998	
-	
5	
※西暦は日本公開年映画パンフレットの世界(夏宗育期)	
23 開に吸べば	
○ 監督: 米下単介 次 二十四の職	
50 単字ンの東	
25 観察: アインファド・ファチロック 機能	
© 気傷・************************************	
5 9#42	
8 程~なるまでこの恋を	
ひょうテンス・フォード・ロッポウン ゴッドファーゲー	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
7. 金銭の食品(パンクル) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	
P. 制命: 於確當於	
2011年 - 1977年 - 1977	
### 1	.2.
□ 位置自由 中央医療	-6-
### #### ############################	-6-
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	-6-
### 19-9-08 ### ### ### ### ### ### ### ### ### #	- 6 -
### 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
### 19-9-08 ### ### ### ### ### ### ### ### ### #	. 5 .
	### 1

	地域と映画文化
	86 秦の歌國鄭秋氏
	8
	477 本族遺襲 辿ら37 477 本族遺襲 辿ら37
	E NI-NDOX4 X48DX-N4 ₹+6
	5 歌舞伎座配布プログラム
	5 特活・移映映画案内 地フ
	2 映画と演奏図覧機
	25. 参田牧田産場 配布プログライ
	55. 静岡銀華巡路スクリーンのメークリー 209988888888888888888888888888888888888
	256 静岡鎮幕道覧スクリーンウィークリー 3529
2	映画パンファットの世界(星次性型)
	米国際は日本公園体
	() $-5m24$ ~ 5246 ~ 5464 ~ 504
	- (U-NEW 2 くらいんき 2 くびんと-NE ぬくこ) シネマスクエアとうきゅう 監督:課職家 美色い大地
	・ ツッカンソ 88 間和:ケイ・トイ 99 はっぱなの比較れる
	94 カンソ 戦争: (ニー・レッジ 戦のH
	((***)・*・* * *** *** *** *** *** *** ***

	- (ボルン・ア・ツルン 鳴っか) 物質キーイ 数数:カイタル・オイタンシュテイン メルシロが観
	*** (エキブ・ド・ひキマ ねゅう) 岩波ホール (エキブ・ド・ひキマ ねゅう) 岩波ホール 子 王 スをする人
	(((((((((((((((((((
	(アーマンター
	> もし数グベロンかない (アーヤンアルー トンロキアート・ンアダー・デルド ここ。 ***********************************
	() () () () () () () () () ()
	- (アートシアボー・ミュロキ)日本アート・シアダー・ギルドの 監告:大名一般 とポクラテスたち
	- (アーマンター [-nΦ]]日本アート・シアター・ダイド 80 数数:今日後5 4 ならば指令
	(ファンケ・ツサ モー)ファンケ・ツザ (2) 制象: ドーン・セナン (本十四名)
	(フィンケ・マキ・ランケンケ・フキ 変数:シナイ・ションゲード ス イラン・ 下会の輩 (フィア・フォーボー)のインチ・ツル
	88 (2) マイダン トラマニマ (2) 12 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2
	 □ □ □ · ツやト・ズルダイス ○ □ □ □ · □ · □ · □ · □ · □ · □ · □ · □
	(タセメルル ※ → 2) タギズメルギ※ 朝鮮: フェカレス・マチヤーフ※ 川 4 ー・フザト・ズルダイス
	(つかんな) コーパック・ (のかんな) コーパック・ 磁声の 事のを) (ローパー) (のかんな) (ロック・ (のかんな) (ション) (マルムルド 日は ー・ ツザト・ エルダイド)
	(1/2m) シッカーカーカーカースを受ける (2/2m) マッカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカー
	(つかんな) コーパック・ (のかんな) コーパック・ 磁声の 事のを) (ローパー) (のかんな) (ロック・ (のかんな) (ション) (マルムルド 日は ー・ ツザト・ エルダイド)
	11 (4 - 1 ムルタ・ でありゃす
	11 ペー・カルタ・「大力をする 12 ペー・カルタ・「大力をする 12 ペー・カルター 12
	11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	If - Art
	11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	11 イー・カルタ・「大力を大」 12 イー・カルタ・「大力を大」 12 イー・カルタ・「大力を大」 13 イー・カルタ・「大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大
	11 イー・カルタ・「大力を大」 12 イー・カルタ・「大力を大」 12 イー・カルタ・「大力を大」 13 イー・カルタ・「大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大
	日 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	(1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1) 1 (1)
	11 (4 - 人 人 中) - で の か マ マ マ 田田 (4 - 人 人 中) - で の か マ マ マ 田田 (4 - A 人 中) - で の か マ マ マ ロ 田田 (4 - A 人 中) - で の の で ス カ ロ 田田 (4 - A 人 中) - で の の の の の の の の の の の の の の の の の の
	11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	### 1 1 1 1 - 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	### 1 1 1 1 - 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
8	11 (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
m	11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
п	### 11 1 1 1 1 1 1 1 1
е	11 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2
е .	### 11 1 1 1 1 1 1 1 1

資料1 前後期展示目録 (ハンドアウト) 2021年3月4日~4月6日注:3制作の舞台裏 4行目 誤:人間の条件 正:人間の條件注:2パンフレットの世界 前・後期で展示入替 中段:前期目録 下段:後期目録



行 事

第75回(2021年度)

東海地区大学図書館協議会 総会・研究集会

【総会の部】

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、 集合形式を見合わせ、下記のとおり開催した。

記

1. 開催期間について

日程 (メール会議) 2021年8月20日 (金) ~ 8月31日 (火)

2. 開催方法について

- (1) 開催方法は、メール会議とし、会員館全館 を出席館として扱う
- (2) 協議事項の審議方法

当協議会会則第9条に則り審議する 第9条総会の票決権は、一館一票とし議決 は出席館の過半数の賛成を要する

- ①疑義や反対意見があれば、事務局宛てメールにて提出する
- ②意見が無い場合は、承認したものとする
- ③意見の内容によっては、運営委員会を開催して審議を行う

I 協議事項

1. 新規加盟館について

審議の結果、静岡県立農林環境専門職大学図 書館および静岡社会健康医学大学院大学附属図 書館の加盟が承認された。

2. 2020年度事業報告

別添の2020年度事業報告(案)のとおり、承 認された。

3. 2020年度決算報告・同監査報告

事務局から、2020年度の決算報告(案)について、同案は、監事館の愛知県立芸術大学、愛

知大学により、適正に処理されていたことが確認されていると説明があり、提案のとおり承認された。

4. 2021年度事業計画(案)及び予算(案)について

事務局から、2021年度事業計画(案)および 予算(案)について説明があり、案のとおり承 認された。

5. 2022年度総会当番館、研修会会場館について

第76回(2022年度)総会・研究集会の当番館 として愛知工業大学、研修会会場館として名城 大学が選出された。

Ⅱ 報告事項

1. 国公私立の各大学図書館の活動状況、当面の課題等について

国公私立の各協議会の理事校・幹事校(名古 屋大学、愛知県立大学、愛知工業大学)から報 告があった。

Ⅲ 永年勤続者表彰

2021年度永年勤続者として、6名が表彰された。

永年勤続表彰者:梅田百合子(岐阜大学)

浅田久美子 (愛知淑徳大学) 尾藤 泰代 (名古屋工業大学) 揚野 敏光 (名古屋大学) 大原るり子 (名古屋大学) 正中 知子 (名古屋大学)

以上

【研究集会の部】

新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、集 合でなくオンライン開催を計画することとした。

2020年度決算報告

(2020年4月1日~2021年3月31日)

科目	予算額 a	決算額 b	過△不足額 b−a	備考
収入の部	円	円	円	
1. 前年度繰越金	2,955,091	2,955,091	0	
2. 会 費	697,000	697,000	0	2020年度分:@8,500×82館=697,000
3. 会 誌 売 上	57,500	52,500	△5,000	65号分:@2,500×21部=52,500
4. 分 担 金	0	0	0	北陸 4 国立大学からの基礎研修分担金は隔年 徴収(第70回総会決定),次回は2021年度
5. 雑 収 入	357,788	210,000	△147,788	協議会誌広告掲載料 (64, 65号) 210,000 @30,000 × 2 社 = 60,000 @20,000 × 3 社 = 60,000 @10,000 × 9 社 = 90,000
6. 預 金 利 息	23	26	3	
計	4,067,402	3,914,617	△152,785	

*前年度繰越金を除く2020年度の収入額 959,526円

科 目	予算額 c	決算額 d	過△不足額 c−d	備考
支出の部	円	円	円	
1. 総会補助金	50,000	50,000	0	第74回総会(日本福祉大学)
2. 研究集会費	13,200	13,475	△275	開催見合わせ、講演動画撮影会場予約費のみ
3. 研修会費	250,000	33,631	216,369	オンライン開催、講師謝金等
4. 会 誌 刊 行 費	480,000	370,260	109,740	65号 180部
5. 役員会経費	5,000	0	5,000	オンライン開催,経費なし
6. 事 務 費	100,000	16,000	84,000	事務用品
7. 通 信 費	70,000	35,794	34,206	会誌送付等郵便料金
8. 表彰記念費	100,000	82,538	17,462	永年勤続表彰者13名の表彰状証書ファイル, 記念品(ネーム印付きボールペン),送料
9. 予 備 費	2,999,202	0	2,999,202	
10. 次年度繰越金	0	3,312,919	△3,312,919	
計	4,067,402	3,914,617	152,785	

*次年度繰越金を除く2020年度の支出額 601,698円

2021年 3 月31日締め 預金残高 3,312,919 円

現金残高 0円

資産総額 3,312,919 円

会計監査

2021年6月21日~6月24日

愛知県立芸術大学 愛知大学

監査済み

2021年度予算

(2021年4月1日~2022年3月31日)

科目	前年度 決算額 a	本年度 予算額 b	前年度決算額 よりの増△減 b-a	備考
収入の部	円	円	円	
1. 前年度繰越金	2,955,091	3,312,919	357,828	
2. 会 費	697,000	714,000	17,000	2021年度分:@8,500×84館=714,000
3. 会 誌 売 上 費	52,500	57,500	5,000	@2,500×23部=57,500
4.分 担 金	0	6,800	6,800	基礎研修開催年度に限り北陸地区国立大 学から徴収する
5. 雜 収 入	210,000	210,000	0	協議会誌広告掲載料 66号分
6. 預 金 利 息	26	26	0	
計	3,914,617	4,301,245	386,628	

^{*}前年度繰越金を除く本年度の収入見込み額 988,326円

科目	前年度 決算額 c	本年度 予算額 d	前年度決算額 よりの増△減 d-c	備考
支出の部	円	円	円	
1. 総会補助金	50,000	50,000	0	第75回総会(愛知教育大学)
2. 研究集会費	13,475	100,000	86,525	講師謝金等
3. 研修会費	33,631	100,000	66,369	当番館経費 (名古屋大学),講師謝金等
4. 会 誌 刊 行 費	370,260	380,000	9,740	66号 160部
5. 役員会経費	0	0	0	オンライン開催,経費なし
6. 事 務 費	16,000	20,000	4,000	
7. 通 信 費	35,794	40,000	4,206	会誌送付等郵便料金
8. 表彰記念費	82,538	40,000	△42,538	永年勤続表彰者6名の記念品(ネーム印 付ボールペン)等
9. 予 備 費	0	3,571,245	3,571,245	
10. 次年度繰越金	3,312,919	0	△3,312,919	
計	3,914,617	4,301,245	386,628	

^{*}予備費を除く本年度の支出見込み額 730,000円

会則等

東海地区大学図書館協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、東海地区大学図書館協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、東海地区大学図書館の発展を図ると共に、図書館員の教養と技術の向上及び相互の親睦をはかることを目的とする。

(会 員)

第3条 本会は、前条の目的に賛同する東海地区 (静岡、愛知、岐阜、三重)の国立、公立、私 立の大学図書館その他これに準ずる図書館を以 て組織する。

(事業)

- 第4条 本会は、第2条の目的を達するために、 次の事業を行う。
 - 一 会員相互間の連絡提携
 - 二 図書及び図書館に関する研究会、講習会、 展覧会等の開催並びに後援
 - 三 図書館運営に関する相談、指導
 - 四 機関誌の発行
 - 五 その他必要と認める事業

(会 長)

- 第5条 本会に会長を置く。
- 2. 総会において会長館を選出し、その会長館の図書館長が会長となる。
- 3. 会長の任期は、2年とする。但し、重任を妨げない。

(委員会)

- 第6条 本会に運営委員会及び機関誌編集委員会 を置く。
- 2. 委員会に関する事項は、別に定める。

(総 会)

- 第7条 会長は、毎年一回総会を招集する。
- 2. 会場は、加盟館の輪番とする。
- 第8条 会長館は、協議事項(議題及び承合事項) をとりまとめ、審議運行の手続きを計る。
- 第9条 総会の票決権は、一館一票とし議決は出 席館の過半数の賛成を要する。

(会 計)

- 第10条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。
- 2. 会員の会費は、年額8,500円とする。
- 第11条 本会の会計事務を監査するため、監事 を置く。
- 2. 総会において監事館を選出し、その監事館の 図書館長が監事となる。
- 3. 監事の任期は 2 年とする。但し、重任を妨 げない。
- 第12条 本会の予算は、毎年総会の議決を経て 決定し、決算は監査を受けたのち、次の総会に おいて承認を得るものとする。
- 第13条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、 翌年3月31日に終る。

(事務局)

- 第14条 会長館に、本会の事務局を置く。
- 2. 事務局に、事務局長及び職員を置く。
- 3. 会長館の事務部長、又はこれに準ずる者が事 務局長となる。

(加盟と脱退)

- 第15条 本会に加盟を希望するものは、会長に 申請し、総会の承認を得なければならない。
- 2. 本会からの脱退を希望するものは、理由を付して会長に申請しなければならない。脱退については総会に報告する。

(会則の変更)

第16条 この会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

(附 則)

本会則は、昭和25年5月1日から施行する。

(附 則)

この改正は、昭和50年7月23日より施行する。

(附 則)

この改正は、平成27年8月21日より施行する。

(附 則)

この改正は、令和元年8月20日より施行する。

東海地区大学図書館協議会 運営委員会規程

- 第1条 運営委員会は、本会の運営に関する事項 を審議する。
- 第2条 運営委員会の構成は、国立大3、公立大 3、私立大4、(短大1を含む)とする。
- 第3条 運営委員は、総会において選出する。
- 2 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任 を妨げない。
- 3 前項の任期が満了しても、後任者が就任するまでは、なお、その任にあるものとする。
- 第4条 運営委員会に、委員長をおく。
- 2 運営委員長は、会長がこれに当たる。
- 3 運営委員長は、必要に応じ委員会を招集することができる。
- 第5条 運営委員会に、必要に応じて小委員会を 置くことができる。
- 第6条 運営委員会の事務は、事務局内において 行う。

附則

この改正は平成12年7月19日から施行する。

東海地区大学図書館協議会 機関誌編集委員会規程

- 1 機関誌の発行について、編集委員会を設ける。
- 2 編集委員は、会長の指名による。
- 3 編集委員会に、委員長を置く。
- 4 編集委員長は、会長がこれにあたる。
- 5 編集委員長は、必要に応じ委員会を招集することができる。
- 6 編集委員会の事務は、事務局内において行う。

東海地区大学図書館協議会研修企画小委員会内規

平成12年10月6日 運営委員会

(目的)

第1 この内規は、東海地区大学図書館協議会(以下「協議会」という。)の研修に関し、必要な

事項を審議するため、運営委員会の下に研修企 画小委員会(以下「小委員会」という。)を置き、 必要な事項を定めることを目的とする。

(審議事項)

- 第2 小委員会は、次に掲げる事項を行う。
 - 一 協議会が行う研修の企画に関すること
 - 二 その他研修に関し、必要な事項

(小委員会の構成)

- 第3 小委員会は、次に掲げる委員館をもって構成する。
 - 一 協議会会長館
 - 二 国立、公立、私立の運営委員館から各1館
 - 三 研修会会場館
- 2 小委員会に委員長館を置き、小委員会の互選による。

(小委員会の庶務)

第4 小委員会の庶務は、協議会事務局において 処理する。

附則

この内規は、平成12年10月6日から施行する。

東海地区大学図書館協議会ホームページ小委員会内規

平成12年10月6日 運営委員会

(目的)

第1 この内規は、東海地区大学図書館協議会(以下「協議会」という。)のホームページ(以下「ホームページ」という。)に関し、必要な事項を審議するため、運営委員会の下にホームページ小委員会(以下「小委員会」という。)を置き、必要な事項を定めることを目的とする。

(審議事項等)

- 第2 小委員会は、次に掲げる事項を行う。
 - ー ホームページの運用・管理に関すること。
 - 二 ホームページの企画・編集に関すること。
- 三 その他ホームページに関し、必要な事項。 (小委員会の構成)
- 第3 小委員会は次に掲げる委員館をもって構成する。

- 一 協議会会長館
- 二 国立、公立、私立の運営委員館から各1館 2 小委員会に委員長館を置き、小委員会の互選 による。

(小委員会の庶務)

第4 小委員会の庶務は、協議会事務局において 処理する。

附則

この内規は、平成12年10月6日から施行する。

東海地区大学図書館協議会ホームページによる情報発信に関わる申し合わせ

平成12年10月6日 運営委員会

- 1 情報発信の範囲
 - ホームページを通じて発信する情報は、次の 各号に該当するものとする。
 - ①協議会事業に関する情報
 - ②協議会加盟館に関する情報
 - ③その他ホームページ小委員会(以下「小委員会」という。)が必要と認めた情報
- 2 情報発信できる者の範囲 ホームページを通じて情報発信できる者は協 議会加盟館とする。
- 3 情報発信の手続き
 - ①ホームページを通じて情報発信しようとする 者は、協議会事務局宛に HTML 形式の文書 をメールで送付するものとする。
 - ②加盟館から送付された文書の内容は原則として変更しない。
 - ③ホームページに掲載する文書の登録及び削除 の決定は、小委員会が行う。但し、疑義があ るときは、小委員会は運営委員会委員長と協 議する。
 - ④ホームページを通じて情報公開している者で、公開する情報の変更又は停止等の事由が 生じた時は、速やかに協議会事務局に連絡する。
 - ⑤小委員会は公開されたホームページの情報が 不適当と判断した場合は、そのファイルを削

除し、リンクを切断することができるものとする。

4 ホームページ

当分の間、ホームページは名古屋大学附属図 書館内のサーバーに置く。

表彰規程

- 第1条 東海地区大学図書館協議会会則第4条第 5号に基づき加盟館の職員に対して行う表彰は この規程の定めるところによる。
- 第2条 毎年総会の前日までに通算20年図書館 に在職する者。
- 第3条 この規程による表彰は加盟館長の推薦により総会において行う。
- 第4条 表彰者には記念品及び感謝状を贈呈する。
- 第5条 この規程の改正は総会の議決によって行う。

附則

この規程は、昭和44年10月29日から実施する。

表彰者推薦に関する申合せ

(昭和53年9月4日)

(改正 令和元年8月20日)

東海地区大学図書館協議会の加盟館に在職する 者のうち、つぎの各項のいずれかに該当する者を 推薦することとする。

- (1) 毎年総会の前日までに通算20年以上加盟館に在職する者。
- (2) 毎年総会の前日までに通算25年以上図書館に在職し、かつ3年以上加盟館に在職する者。 なお、(1)、(2) のいずれについても事務補佐 員等としての在職期間も加算するものとする。

「図書館職員基礎研修」実施に関する 分担金についての申合せ

(平成27年8月21日)

「図書館職員基礎研修」(以下、「基礎研修」と

いう。)については、平成25年度東海地区大学図書館協議会総会において、東海北陸地区国立大学図書館協会と共催することを決定した。これに伴う分担金の取り扱いについて以下のとおり定める。

- 1. 東海北陸地区国立大学図書館協会加盟館のうち、北陸地区に所在する4大学(以下、「北陸地区4国立大学」という。)から、基礎研修実施年度に限り、分担金を徴収することとする。
- 2. 分担金の金額は、前回の基礎研修開催に要した経費を、東海地区大学図書館協議会加盟館及び北陸地区4国立大学の合計数で除した値を基礎にして、その都度東海地区大学図書館協議会運営委員会で定める。

総会当番館一覧

東海地区大学図書館協議会 総会当番館一覧

口	年 月	館 名	県別	口	年 月	館 名	県別
1	昭25.6	名古屋大学	愛知	39	60.10	豊橋技術科学大学	愛知
2	26. 6	金城学院大学	"	40	61. 6	中京大学	"
3	26.11	三重大学	三重	41	62. 6	愛知県立大学	"
4	27. 5	愛知学芸大学	愛知	42	63. 6	愛知学院大学	"
5	27.10	名古屋工業大学	"	43	平成元. 6	愛知教育大学	"
6	28. 5	三重県立大学	三重	44	2. 6	愛知大学	"
7	28. 8	名古屋市立大学	愛知	45	3. 7	静岡県立大学	静岡
8	29.10	静岡大学	静岡	46	4. 6	中部大学	愛知
9	30. 9	岐阜大学	岐阜	47	5. 6	岐阜大学	岐阜
10	31. 5	愛知大学	愛知	48	6. 7	名古屋学院大学	愛知
11	32.10	日本大学 (三島)	静岡	49	7. 6	岐阜薬科大学	岐阜
12	33. 6	名城大学	愛知	50	8. 7	愛知大学	愛知
13	34. 9	岐阜薬科大学	岐阜	51	9. 7	浜松医科大学	静岡
14	35.11	名古屋大学	愛知	52	10. 7	日本福祉大学	愛知
15	36.11	南山大学	"	53	11. 7	愛知県立看護大学	"
16	37. 6	岐阜県立医科大学	岐阜	54	12. 7	愛知工業大学	"
17	38. 6	名古屋工業大学	愛知	55	13. 7	三重大学	三重
18	39.10	愛知県立大学	"	56	14. 7	金城学院大学	愛知
19	40.10	日本福祉大学	"	57	15. 6	岐阜県立看護大学	岐阜
20	41.10	中京大学	"	58	16. 7	南山大学	愛知
21	42.11	岐阜薬科大学	岐阜	59	17. 7	名古屋工業大学	"
22	43.11	愛知学院大学	愛知	60	18. 7	名城大学	"
23	44.10	三重大学	三重	61	19. 8	愛知県立芸術大学	"
24	45. 9	同朋大学	愛知	62	20. 8	愛知淑徳大学	"
25	46.10	名古屋市立大学	"	63	21. 8	名古屋大学	"
26	47.10	中部工業大学	"	64	22. 8	名古屋外国語大学· 名古屋学芸大学	"
27	48.10	愛知教育大学	"	65	23. 8	名古屋市立大学	"
28	49.10	大同工業大学	"	66	24. 8	中京大学	"
29	50. 7	愛知県立芸術大学	"	67	25. 8	静岡大学	静岡
30	51. 6	市邨学園女子短期大学	"	68	26. 8	中部大学	愛知
31	52. 6	静岡大学	静岡	69	27. 8	愛知県立大学	"
32	53. 9	愛知工業大学	愛知	70	28. 8	名古屋学院大学	"
33	54. 9	静岡女子大学	静岡	71	29. 8	豊橋技術科学大学	"
34	55. 9	名古屋学院大学	愛知	72	30. 8	愛知大学	"
35	56.10	浜松医科大学	静岡	73	令和元. 8	静岡文化芸術大学	静岡
36	57. 9	名古屋女子大学	愛知	74	2. 8	日本福祉大学	愛知
37	58.10	静岡薬科大学	静岡	75	3. 8	愛知教育大学	"
38	59. 9	南山大学	愛知	76	4. 8	愛知工業大学 (予定)	"

国立→私立→公立→私立の順による

加盟館一覧

東海地区大学図書館協議会加盟館一覧

令和3年12月1日現在

図書館名	法人名	館長	郵便番号	住所	電話	FAX
	(84)					
□■ 岐阜県 ■□	(14)					
朝日大学図書館	学校法人 朝日大学	大野 正博	〒 501-0296	瑞穂市穂積 1851-1	(058) 329-1051	(058) 329-0021
岐阜大学図書館	国立大学法人	大藪 千穂	〒 501-1193	岐阜市柳戸 1-1	(058) 293-2184	(058) 293-2194
岐阜医療科学大学 図書館	学校法人 神野学園	成 順月	〒 501-3892	関市市平賀字長峰 795-1	(0575) 22-9401	(0575) 46-9570
岐阜協立大学図書館	学校法人 大垣総合学園	高橋 利行	〒 503-8550	大垣市北方町 5-50	(0584) 77-3527	(0584)77-3528
岐阜県立看護大学 図書館	公立大学法人 岐阜県立看護大学	藤澤まこと	〒 501-6295	羽島市江吉良町 3047-1	(058) 397-2304	(058) 397-2304
岐阜市立女子短期大学 附属図書館		道家 晶子	〒 501-0192	岐阜市一日市場北町 7-1	(058) 296-3123	(058) 296-3130
岐阜聖徳学園大学 図書館	学校法人 聖徳学園	秋山 晶則	〒 501-6194	岐阜市柳津町高桑西 1-1	(058) 279-6416	(058) 279-1242
岐阜女子大学図書館	学校法人 華陽学園	木俣 正剛	〒 501-2592	岐阜市太郎丸 80	(058) 214-9317	(058) 229-2222
岐阜保健大学図書館	学校法人 豊田学園	内藤 直子	〒 500-8281	岐阜市東鶉 2-92	(058) 274-5001	(058) 274-5260
岐阜薬科大学 附属図書館		北市 清幸	〒 502-8585	岐阜市三田洞東 5 丁目 6-1	(058) 237-3931	(058) 237-3631
情報科学芸術大学院 大学附属図書館		三輪 眞弘	〒 503-0006	大垣市加賀野 4-1-7	(0584) 75-6803	(0584) 75-6803
中京学院大学 メディアセンター	学校法人 中京学院	眞部 孝幸	〒 509-6192	瑞浪市土岐町 2216	(0572) 68-4584	(0572)68-4568
中部学院大学 附属図書館	学校法人 岐阜済美学院	永谷 照男	〒 501-3993	関市桐ヶ丘二丁目1番地	(0575) 24-2243	(0575) 24-2434
東海学院大学·東海学院 大学短期大学部附属 図書館	学校法人 神谷学園	アンドリュー デュアー	〒 504-8511	各務原市那加桐野町 5-68	(058) 389-2969	(058) 371-9851
□■ 静岡県 ■□	(13)					
静岡大学附属図書館	国立大学法人	坂本 健吉	〒 422-8529	静岡市駿河区大谷 836	(054) 238-4474	(054) 238-5408
静岡県立大学 附属図書館	静岡県 公立大学法人	轟木堅一郎	〒 422-8526	静岡市駿河区谷田 52-1	(054) 264-5801	(054) 264-5899
静岡県立大学短期大学部 附属図書館・静岡県立大 学附属図書館小鹿図書館	静岡県 公立大学法人	高木 剛 轟木堅一郎	〒 422-8021	静岡市駿河区小鹿 2-2-1	(054) 202-2617	(054) 202-2620
静岡県立農林環境専門 職大学図書館		逢坂 興宏	〒 438-8577	静岡県磐田市富丘 678-1	(0538) 31-7923	(0538) 31-7999
静岡産業大学図書館	学校法人 新静岡学園	佐野 典秀	〒 438-0043	磐田市大原 1572-1	(0538) 36-8844	(0538) 36-3580
静岡社会健康医学大学 院大学附属図書館	公立大学法人 嗣社会健康医学大学院大学	小島原典子	〒 420-0881	静岡市葵区北安東 4-27-2	(054) 295-5401	(054) 248-3520
静岡文化芸術大学 図書館・情報センター	公立大学法人 静岡文化芸術大学	伊豆 裕一	〒 430-8533	浜松市中区中央二丁目1番1号	(053) 457-6124	(053) 457-6125
静岡理工科大学 附属図書館	学校法人 静岡理工科大学	秋山 憲治	〒 437-8555	袋井市豊沢 2200-2	(0538) 45-0231	(0538) 45-0230

図書館名	法人名	館	長	郵便番号	住所	電話	FAX
聖隷クリストファー大学 図書館	学校法人 聖隷学園	長峰	伸治	〒 433-8558	浜松市北区三方原町 3453	(053) 439-1416	(053) 414-1146
東海大学付属図書館 清水図書館	学校法人 東海大学	川崎	一平	〒 424-8610	静岡市清水区折戸 3-20-1	(054) 334-0414	(054) 334-0862
常葉大学附属図書館	学校法人 常葉大学	堀井	啓幸	〒 422-8581	静岡市駿河区弥生町 6-1	(054) 297-6136	(054) 297-6137
日本大学図書館 国際関係学部分館	学校法人 日本大学	大淵	三洋	〒 411-8555	三島市文教町 2 丁目 31-145	(055) 980-0806	(055) 988-7875
浜松医科大学 附属図書館	国立大学法人	椙村	春彦	〒 431-3192	浜松市東区半田山一丁目 20-1	(053) 435-2169	(053) 435-5140
□■ 愛知県 ■□	(51)			-			
愛知大学図書館	学校法人 愛知大学	塩山	正純	₹ 453-8777	名古屋市中村区平池町4丁目60番6	(052) 564-6115	(052) 564-6215
愛知医科大学 総合学術情報センター	学校法人 愛知医科大学	中野	隆	₹ 480-1195	長久手市岩作雁又 1-1	(0561)62-3311 (代表)	(0561) 62-3348
愛知学院大学 図書館情報センター	学校法人 愛知学院	松薗	斉	〒 470-0195	日進市岩崎町阿良池 12	(0561)73-1111 (代表)	(0561) 73-7810
愛知学泉大学図書館	学校法人 安城学園	千賀	敬之	〒 444-8520	岡崎市舳越町上川成 28	(0564) 34-1209	(0564) 34-1270
愛知教育大学 附属図書館	国立大学法人	野地	恒有	〒 448-8542	刈谷市井ヶ谷町広沢 1	(0566) 26-2683	(0566) 26-2680
愛知県立大学学術研究 情報センター図書館	愛知県 公立大学法人	宇都宮	みのり	〒 480-1198	長久手市茨ヶ廻間 1522-3	(0561)76-8841	(0561) 64-1104
愛知県立芸術大学芸術 情報センター図書館	愛知県 公立大学法人	中巻	寛子	〒 480-1194	長久手市岩作三ケ峯 1-114	(0561)76-2963	(0561) 62-0244
愛知工科大学 附属図書館	学校法人 電波学園	小林	直美	〒 443-0047	蒲郡市西迫町馬乗 50-2	(0533) 68-1135	(0533) 68-0352
愛知工業大学 附属図書館	学校法人 名古屋電気学園	村瀬	洋	₹ 470-0392	豊田市八草町八千草 1247	(0565) 48-8121	(0565) 48-2908
愛知産業大学・ 短期大学図書館	学校法人 愛知産業大学	伊藤刀	万知子	〒 444-0005	岡崎市岡町字原山 12-5	(0564) 48-4591	(0564) 48-5113
愛知淑徳大学図書館	学校法人 愛知淑徳学園	親松	和浩	〒 480-1197	長久手市片平 2-9	(0561)62-4111 (代表)	(0561) 64-0310
愛知東邦大学 学術情報センター	学校法人 東邦学園	髙木	靖彦	〒 465-8515	名古屋市名東区平和が丘 3-11	(052)782-1243	(052) 782-1097
愛知文教大学 附属図書館	学校法人 足立学園	富田	健弘	〒 485-8565	小牧市大草 5969-3	(0568) 78-2211	(0568) 78-2240
桜花学園大学図書館	学校法人 桜花学園	柏倉	秀克	〒 470-1193	豊明市栄町武侍 48	(0562) 97-1725	(0562) 97-1703
岡崎女子大学 · 岡崎女子短期大学図書館	学校法人 清光学園	林	陽子	〒 444-0015	岡崎市中町 1-8-4	(0564) 28-3318	(0564) 28-3323
金城学院大学図書館	学校法人 金城学院	大橋	陽	〒 463-8521	名古屋市守山区大森 2-1723	(052) 798-0180	(052)768-1066
至学館大学附属図書館	学校法人 至学館	細谷	正明	〒 474-8651	大府市横根町名高山 55	(0562)46-1239	(0562)46-3860
自然科学研究機構 岡崎情報図書館	大学共同利用機関法人	川合	眞紀	〒 444-8585	岡崎市明大寺町西郷中 38	(0564) 55-7191	(0564) 55-7199
修文大学附属図書館	学校法人 修文学院	越川	卓	₹ 491-0938	一宮市日光町6番地	(0586) 45-2101	(0586) 45-4410
椙山女学園大学図書館	学校法人 相山女学園	佐藤	厚子	₹ 464-8662	名古屋市千種区星が丘元町 17-3	(052) 781-6452	(052) 781-3094
星城大学図書館	学校法人 名古屋石田学園	坂井	一也	〒 476-8588	東海市富貴ノ台 2-172	(052)601-6000 (代表)	(052) 601-6137
瀬木学園図書館	学校法人 瀬木学園	田中	良三	〒 467-0867	名古屋市瑞穂区春敲町 2-13	(052) 882-3152	(052) 882-3170

図書館名	法人名	館	長	郵便番号	住所	電話	FAX
大同大学図書館	学校法人 大同学園	成田澤	享一郎	〒 457-8530	名古屋市南区滝春町 10-3	(052) 612-6873	(052)612-6108
中京大学図書館	学校法人 梅村学園	佐藤	隆	〒 466-8666	名古屋市昭和区八事本町 101-2	(052) 835-7157	(052)835-1249
中部大学附属三浦記念 図書館	学校法人 中部大学	足達	義則	〒 487-8501	春日井市松本町 1200	(0568) 51-4317	(0568) 52-1510
同朋大学· 名古屋音楽大学図書館	学校法人 同朋学園	大岡	訓子	〒 453-8540	名古屋市中村区稲葉地町 7-1	(052) 411-1951	(052)411-1120
東海学園大学図書館	学校法人 東海学園	大場	厚志	〒 468-8514	名古屋市天白区中平2丁目901	(052) 801-1528	(052)804-1192
豊田工業大学総合情報センター	学校法人 トヨタ学園	大石	泰丈	〒 468-8511	名古屋市天白区久方 2-12-1	(052) 809-1743	(052)809-1744
豊田工業高等専門学校 図書館	独立行政法人国立 高等専門学校機構	鈴木	健次	〒 471-8525	豊田市栄生町 2-1	(0565) 36-5904	(0565) 36-5920
豊橋技術科学大学 附属図書館	国立大学法人	角田	範義	〒 441-8580	豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1	(0532)44-6562	(0532) 44-6566
豊橋創造大学 附属図書館	学校法人 藤ノ花学園	佐藤	勝尚	〒 440-8511	豊橋市牛川町松下 20-1	(050) 2017-2105	(050) 2017-2115
名古屋大学附属図書館	国立大学法人	佐久間]淳一	〒 464-8601	名古屋市千種区不老町	(052) 789-3666	(052) 789-3693
名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学図書館	学校法人 中西学園	藤井	省三	〒 470-0188	日進市岩崎町竹ノ山 57	(0561)75-1726	(0561) 75-1727
名古屋学院大学 学術情報センター	学校法人 名古屋学院大学	肥田	朋子	〒 456-8612	名古屋市熱田区熱田西町 1-25	(052)678-4091 (事務所)	(052)682-6826
名古屋経済大学図書館	学校法人 市邨学園	山住	富也	〒 484-0000	大山市字樋池 61-22	(0568) 67-3798	(0568) 67-9321
名古屋芸術大学 附属図書館	学校法人 名古屋自由学院	片岡	祐司	〒 481-8503	北名古屋市熊之庄古井 281	(0568) 26-3121	(0568) 24-0393
名古屋工業大学図書館	国立大学法人	小畑	誠	〒 466-8555	名古屋市昭和区御器所町	(052) 735-5098	(052)735-5102
名古屋産業大学· 名古屋経営短期大学図書館	学校法人 菊武学園	冨田	裕平	〒 488-8711	尾張旭市新居町山の田 3255-5	(0561) 55-3081	(0561) 55-5985
名古屋商科大学 中央情報センター	学校法人 栗本学園	浅野	一明	〒 470-0193	日進市米野木町三ヶ峯 4-4	(0561)73-2111 (代表)	(0561)73-1202
名古屋女子大学 学術情報センター	学校法人 越原学園	越原汽	羊二郎	〒 467-8610	名古屋市瑞穂区汐路町 3-40	(052) 852-9768	(052) 852-1830
名古屋市立大学 総合情報センター	公立大学法人 名古屋市立大学	湯川	泰	〒 467-8501	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1	(052) 872-5795	(052)872-5781
名古屋造形大学図書館	学校法人 同朋学園	大岡	訓子	〒 485-8563	小牧市大字大草字年上坂 6004	(0568) 79-1255	(0568) 47-0361
名古屋短期大学図書館	学校法人 桜花学園	茶谷	淳一	〒 470-1193	豊明市栄町武侍 48	(0562) 97-1725	(0562) 97-1703
名古屋文理大学 図書情報センター	学校法人 滝川学園	杉江	晶子	〒 492-8520	稲沢市稲沢町前田 365	(0587)23-2400 (代表)	(0587) 21-2844
名古屋柳城女子大学· 名古屋柳城短期大学図書館	学校法人 柳城学院	村田	康常	〒 466-0034	名古屋市昭和区明月町 2-54	(052) 841-2635	(052)841-2697
南山大学図書館	学校法人 南山学園	山田	望	〒 466-8673	名古屋市昭和区山里町 18	(052) 832-3163	(052)832-3462
日本赤十字豊田看護大学 学術情報センター・図書館	学校法人 日本赤十字学園	下間	正隆	〒 471-8565	豊田市白山町七曲 12-33	(0565) 36-5119	(0565) 37-7897
日本福祉大学 付属図書館	学校法人 日本福祉大学	亀谷	和史	〒 470-3295	知多郡美浜町大字奥田字会下前 35番6	(0569) 87-2325	(0569) 87-2795
人間環境大学 附属図書館	学校法人 河原学園	岡	良和	〒 444-3505	岡崎市本宿町字上三本松 6-2	(0564) 48-7815	(0564) 48-7815
藤田医科大学図書館	学校法人 藤田学園	橋本	修二	₹ 470-1192	豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98	(0562) 93-2420	(0562) 93-2649

図書館名	法人名	館	'長	郵便番号	住所	電話	FAX
名城大学附属図書館	学校法人 名城大学	前田	智彦	〒 468-8502	名古屋市天白区塩釜口 1-501	(052)832-1151 (代表)	(052) 833-6046
□■ 三重県 ■□	(6)						
皇學館大学附属図書館	学校法人 皇學館	吉田	直樹	〒 516-8555	伊勢市神田久志本町 1704	(0596) 22-6322	(0596) 22-6329
鈴鹿医療科学大学 附属図書館	学校法人 鈴鹿医療科学大学	藤原	芳朗	〒 510-0293	鈴鹿市岸岡町 1001-1	(059) 340-0337	(059) 383-9915
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 附属図書館	学校法人 享栄学園	木之口	内秀彦	〒 510-0298	鈴鹿市郡山町 663-222	(059) 372-3950	(059) 372-2827
三重大学情報教育・ 研究機構情報ライブラリーセンター	国立大学法人	梅川	逸人	〒 514-8507	津市栗真町屋町 1577	(059) 231-9083	(059) 231-9086
三重県立看護大学 附属図書館	公立大学法人 三重県立看護大学	林	辰弥	〒 514-0116	津市夢が丘 1-1-1	(059) 233-5608	(059) 233-5668
津市立三重短期大学 附属図書館		藤枝	律子	〒 514-0112	津市一身田中野 157	(059) 232-2341	(059) 232-9647

役員館一覧

東海地区大学図書館協議会役員館一覧 (平成 16 年度~令和 3 年度)

				運営委員会	機関誌編集 委員会	監事会	研修企画 小委員会	ホームページ 小委員会								
年度	総 会 当番館	研修会 会場館	会長館	会長 国立3,公立3,私立4 (短大1を含む) オブザーバ:総会当番館	会長 編集委員は会長 の指名	総会で選出,監事 館の図書館長が監 事となる	会長館 国立,公立,私 立の運営委員館 から各1館 研修会会場館	会長館 国立, 公立, 私 立の運営委員館 から各1館								
平成 16 年度	南山大学	名古屋 大学 岐阜大学	4-1-0	浜松医科大学 三重大学 名古屋工業大学 愛知県立看護大学	愛知教育大学 岐阜大学	ST, local E also the Chr. I. M.	名古屋大学 名古屋工業大学									
平成 17 年度	名古屋 工業大学	中京大学 名古屋 大学	名古屋 大学	名占屋市立大学 /静岡県立大学短期大学部(H17) 南山大学	名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学金城学院大学	名古屋市立大学 中京大学 研修会会場館									
平成 18 年度	名城大学	岐阜県立 看護大学 名古屋 大学	名古屋大学	静岡大学 豊橋技術科学大学 愛知教育大学 愛知県立看護大学 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学		名古屋大学 静岡大学	名古屋大学								
平成 19 年度	愛知県立 芸術大学	名古屋 大学 中部大学		石百居市立大学 静岡県立大学短期大学部(H18) /三重短期大学(H19) 名城大学 中部大学 中京女子大学 名古屋柳城短期大学	发士八子 名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知県立芸術大学 南山大学	留成人子 名古屋市立大学 中部大学 研修会会場館	豊橋技術科学大学 名古屋市立大学 中京女子大学								
平成 20 年度	愛知淑徳 大学	浜松医科 大学 名古屋 大学	-名古屋 大学					岐阜大学 浜松医科大学 三重大学 愛知県立看護大学(H20)/愛知県立大学(H21) 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学	愛知県立芸術大学	名古屋大学 浜松医科大学	名古屋大学 三重大学				
平成 21 年度	名古屋 大学	同朋学園 大学 名古屋 大学					津市立三重短期大学 愛知淑徳大学 同朋学園大学 豊田工業大学 鈴鹿短期大学	名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	名城大学	名古屋市立大学同朋学園大学	名古屋市立大学 豊田工業大学					
平成 22 年度	名古屋外 国語大学 ·名古屋 学芸大学	静岡県立 大学 名古屋 大学	-名古屋 大学	名古屋	名古屋工業大学 静岡大学 豊橋技術科学大学 愛知県立大学 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学	愛知県立芸術大学	名古屋大学 静岡大学	名古屋大学 豊橋技術科学大学							
平成 23 年度	名古屋 市立大学	豊橋創造 大学 名古屋 大学		版阜市立女子短期大学 名古屋外国語大学·名古屋学芸大学 豊橋創造大学 名古屋学院大学 名古屋産業大学·名古屋経営短期大学図書館	名古屋工業大学 愛知県立大学 愛知学院大学	愛知淑徳大学	名古屋市立大学 豊橋創造大学 静岡県立大学	名古屋市立大学名古屋学院大学								
平成 24 年度	中京大学	三重大学 名古屋 大学		名古屋 大学		名古屋 大学		名古屋 大学		名古屋		愛知教育大学 岐阜大学 读松医科大学 愛知県立大学 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学	愛知県立芸術大学 名古屋外国語大学・	名古屋大学 岐阜大学	名古屋大学 浜松医科大学
平成 25 年度	静岡大学	名古屋経 済大学 名古屋 大学	大学	時間県立短期大学部 中京大学 名古屋経済大学 名古屋芸術大学 名古屋刺城短期大学	名古屋工業大学 名古屋市立大学 愛知学院大学	名古屋学芸大学	愛知県立大学 名古屋経済大学 三重大学	名古屋市立大学 名古屋芸術大学								
平成 26 年度	中部大学	愛知県立 芸術大学 名古屋 大学	夕十巳	静岡大学 名古屋工業大学 三重大学 愛知県立大学 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学	此自萊和士學	名古屋大学 静岡大学 愛知県立大学	名古屋大学 名古屋工業大学								
平成 27 年度	愛知県立 大学	名古屋外 国語大学· 名古屋学 芸大学 名古屋大学	名古屋 大学		石 立 屋 市 立 八字 津市 立 三 重 短期 大 学 中 部 大 学 名 古 屋 外 国 語 大 学 ・ 名 古 屋 学 芸 大 学 名 古 屋 商 科 大 学 名 古 屋 経 済 大 学 ・ 名 古 屋 経 済 大 学 短 期 大 学 部	名古屋工業大学 名古屋市立大学 愛知学院大学	岐阜薬科大学 中京大学	爱知県立人学 名古屋外国語大学 · 名古屋学芸大学 愛知県立芸術大学	名古屋工業人字 名古屋市立大学 名古屋商科大学							

				運営委員会	機関誌編集 委員会	監事会	研修企画 小委員会	ホームページ 小委員会							
年度	総 会 当番館	研修会会場館	会長館	会長 国立3,公立3,私立4 (短大1を含む) オブザーバ:総会当番館	会長 編集委員は会長 の指名	総会で選出,監事 館の図書館長が監 事となる	会長館 国立,公立,私 立の運営委員館 から各1館 研修会会場館	会長館 国立,公立,私 立の運営委員館 から各1館							
平成 28 年度	名古屋 学院大学	名古屋 工業大学 名古屋 大学	名古屋	岐阜大学 愛知教育大学 豊橋技術科学大学 愛知県立大学 医五屋市立大学 岐阜市立女子短期大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学	愛知県立芸術大学 中部大学	名古屋大学 爱知教育大学 爱知県立大学 南山大学 名古屋工業大学	名古屋大学 愛知教育大学 名古屋市立大学							
平成 29 年度	豊橋技術 科学大学	名古屋 大学	大学	収年日	名古屋市立大学 愛知学院大学	中部人子	名古屋大学 愛知教育大学 愛知県立大学 南山大学	同朋大学·名古 屋造形大学							
平成 30 年度	愛知大学	名古屋 女子大学	名古屋								浜松医科大学 三重大学 名古屋工業大学 愛知県立大学 名古屋市立大学	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学	愛知県立芸術大学	名古屋大学 浜松医科大学 愛知県立大学 愛知大学 名古屋女子大学	名古屋大学三重大学
令和 元 年度	静岡文化 芸術大学	名古屋 大学	大学	静岡県立大学短期大学部 愛知大学 名古屋女子大学 日本福祉大学 岐阜保健短期大学	愛知県立大学 愛知学院大学	名古屋学院大学	名古屋大学 浜松医科大学 愛知県立大学 愛知大学	名古屋市立大学 日本福祉大学							
令和 2 年度	日本福祉大学	三重県立 看護大学	名古屋	名百屋巾立大字	愛知教育大学 岐阜大学 名古屋工業大学	愛知県立芸術大学愛知大学	名古屋大学 静岡大学 愛知県立大学 人間環境大学 三重県立看護大学	名古屋大学 豊橋技術科学大学 名古屋市立大学							
令和 3 年度	愛知 教育大学	名古屋 大学	八子	三重短期大学 日本福祉大学 人間環境大学 藤田医科大学 名古屋産業大学・名古屋経営短期大学	愛知県立大学 愛知学院大学	変知人子	名古屋大学 静岡大学 愛知県立大学 人間環境大学	藤田医科大学							

研修会一覧

東海地区大学図書館協議会研修会一覧 (平成元年度~令和3年度)

年度	年月日	会 場	演 題	講師	所 属
	∹ 10 F	كر با 4يا تم	学術情報サービスの展開と大学図書館	門條 司	化学情報協会
元	元.12.5	名 城 大 学	アダム・スミスの蔵書をめぐって	水田 洋	名城大学
	2. 1.31	名古屋大学	大学図書館の未来像	丸山昭二郎	鶴見大学
	0.11.00	点 土 艮 土 冯	Collection building について	川原 和子	三重大学
	2.11.29	名古屋大学	大学図書館とニュー・メディア	橋爪 宏達	学術情報センター
2	3. 1.30	大同工業大学	『経済学文献季報』のデータベース化について – KEIS から KEIS II へ	山内 隆文	名古屋学院大学
			私の日本の古典文献とのつきあい	朝倉 治彦	四日市大学
	211 0	夕十日 兴 险 土	ドイツ及び英国の図書館事情	牧村 正史	名古屋大学
	3.11. 8	名古屋学院大	江戸時代の出版	長島 弘明	名古屋大学
3	4 1 17	受 知 旧 回 妻 始	目録システムにおけるハイパーテキストの適用可能性	石塚 英弘	図書館情報大学
	4. 1.17	愛知県図書館	新図書館概要説明及び見学	鈴木 康之	愛知県図書館
	4.10.01	丰 小 上 兴	慶應義塾大学の新しい試み-マルチメディアの統合-	原田 悟	慶應義塾大学
	4.10.21	南山大学	図書館の施設計画に関連して	加藤 彰一	名古屋大学
4	5 210		カリフォルニア大学バークレー校の図書館システム	棚橋 章	名古屋大学
	5. 3.19	名古屋大学	電子情報サービスの新しい展開	寺村 謙一	丸善(株)
	6. 1.26	施設見学会:けい	いはんなインフォザール		
5			シーボルトと中京の学者たち	武内博	東京学芸大学
	6. 3.23	愛知医科大学	大学図書館におけるコレクション形成・管理の意義と問 題点	三浦 逸雄	東京大学
		愛知学院大学	アメリカ図書館最新事情	渡辺 和代	名古屋アメリカン
	612 6			川瀬 正幸	センター 名古屋大学
6	0.12. 0		地域・館種を越えた図書館サービス - すべての図書館を すべての利用者に -	雨森 弘行	三重県立図書館
	7. 2.22	施設見学会:三重	重県図書館		
			鯨と捕鯨の文化史	森田 勝昭	甲南女子短期大学部
	7.10.27	名古屋大学	研究図書館としての電子図書館の事例 - 機能と運営 -	渡辺 博	奈良先端科学技術 大学院大学
7	7.12. 7	愛知工業大学	シンポジウム:利用者教育の在り方-方法と問題点-	光斎 重治 高橋 一郎 四谷あさみ 堀 茂 金子 豊	中部大学 愛知県立大学 愛知淑徳大学 名古屋大学 名古屋大学
	0 10 04	夕士艮士兴	インターネット, イントラネットを前提とした図書館情報サービスの将来	後藤 邦夫	南山大学
8	8.10.24	名古屋大学	電子図書館の諸相:US Berkeley Digital Library Project と Ariadne97	谷口 敏夫	光華女子大学
	8.12. 4	愛知淑徳大学	シンポジウム: NDC 新版 9 版について	石山 洋 万波 涼子 中井えり子 酒井 信	東海大学 名古屋市立大学 名古屋大学 名城大学

年度	年月日	会 場	演題	講師	所属	
	0.10.00	7 4 8 1	英国大学図書館における電子情報サービスの進展	尾城 孝一	東京工業大学	
	9.10.30	名古屋大学	フランス国立図書館 BNF	篠田知和基	名古屋大学	
9	0.12.10	朝日大学	講演 歌うコンピュータ・描くコンピューターマルチメディ ア時代への布石 –	板谷 雄二	朝日大学	
	9.12.10	#J 1 /	フォーラム:マルチメディアと電子図書館 – 図書館機能 におけるホームページ –	津田 明美 林 哲也 鈴木 康生 三浦 基	愛知工業大学 浜松医科大学 名古屋大学 南山大学	
	10.10 5	女 士 艮 土 兴	テーマ:電子ジャーナルの"いま"と"こんご" 講演 デジタルメディアの現状と今後	逸村 裕	愛知淑徳大学	
10	10.12. 5	名古屋大学	電子ジャーナルの事例報告 EES, Science Direct FirstSearch, FirstSearch ECO Journals@ovid, HighWire Press	エルゼビア 紀伊國屋書店 ユサコ		
			テーマ:大学図書館における電子情報サービスの実際 ネット時代の教育・研究環境と図書館の活用	松島 桂樹	岐阜経済大学	
	10.12.16	岐阜経済大学	電子情報サービスの事例報告	安田多香子 野村 千里 夏目弥生子	愛知県立大学 南山大学 名古屋大学	
	11.11. 2	名古屋大学	テーマ:著作権法と大学図書館 大学図書館にかかわる著作権問題	石倉 賢一	千葉大学	
	11.11. 2		電子図書館サービスと著作権	山本 順一	図書館情報大学	
11	11.12. 7		テーマ:大学図書館と学生用図書 大学教育改革と学生用図書	柴田 正美	三重大学	
		岐阜女子大学	事例報告	江口 愛子 吉根佐和子 福井 司郎	浜松医科大学 名古屋市立大学 中京大学	
		愛知教育大学	テーマ:大学図書館における相互協力 大学図書館における相互協力	石井 啓豊	図書館情報大学	
12	13. 1.18		事例報告	平井 芳美 濱口 幾子 加藤 直美	名古屋大学 愛知県立看護大学 愛知工業大学	
	13. 3. 9	名古屋大学	テーマ:大学図書館の管理・運営 大学図書館の管理・運営	長谷川豊祐	鶴見大学	
			コンソーシアムを視野においた大学図書館の運営	松下 鈞	国立音楽大学	
				テーマ:古文書の整理と保存:電子メディア変換(画像) による利用について 講演		
	13.12.20	大同工業大学	古文書の整理と保存	秋山 晶則	名古屋大学	
13			事例報告 徳島大学附属図書館貴重資料高精細デジタルアーカイ ブ - 21 世紀地域ネットワークへの試み -	岡田 惠子	徳島大学	
			テーマ:図書館の電子化と所蔵資料を核とした地域との 連携 ディジタル時代の図書館	逸村 裕	名古屋大学	
	14. 1.24	名古屋大学	所蔵資料の高度活用を目指して - 地域の博物館・図書館 等の連携 -	種田 祐司	名古屋大学 名古屋市博物館	
			テーマ:学術情報の電子化を考える			
14	14.12.13	名古屋大学	講演 学術情報の電子化が意味するもの – 研究者の立場から 考える –	倉田 敬子	慶應義塾大学	
			事例報告 名古屋大学における電子ジャーナルの現状について	澄川千賀子· 川添 真澄	名古屋大学	

年度	年月日	会 場	演 題	講師	所 属
1.4	15 2 4	名古屋市立大学	テーマ:現代の大学図書館と著作権 講演		
14	10. 5. 4	石白座甲亚八子	現代の大学図書館と著作権	土屋 俊	千葉大学
	15 10 15	匆七日上 尚	テーマ:図書館のサービス・マネジメントと評価		
1.5	15.12.15	名古屋大学	講演 図書館のサービス・マネジメント:顧客の選好と評価	永田 治樹	筑波大学
15	16 010	41.1.4.WELL.W	テーマ: SPARC の現状と SPARC/JAPAN の今後について		
	16. 2.19	椙山女学園大学	講演 SPARC の現状と SPARC/JAPAN の今後について	安達 淳	国立情報学研究所
			テーマ:電子的学術情報利用の進展と今後の展望		
			事例報告 名古屋大学の電子図書館化計画 - 機関リポジトリ構築	郡司 久	名古屋大学
	16.12.17	名古屋大学	計画を中心にして – 医学系図書館の電子ジャーナル状況と日本医学図書館 協会電子ジャーナルコンソーシアムの現状	坪内 政義	愛知医科大学
			電子ジャーナルの利点と課題-サイエンス・ダイレクトを例に-	高橋 昭治	エルゼビアジャパン
16			テーマ:大学図書館におけるアウトソーシング		
			事例報告 日本福祉大学付属図書館におけるアウトソーシング	岡崎 佳子	日本福祉大学
	17. 3. 3	ぱるるプラザGIFU	マウトソーシングを活用した大学図書館運営 – 立命館 大学における現状と課題 –	田中康雄	立命館大学
			アウトソーサーからみたアウトソーシング	図書館流通センター	
			テーマ:図書館情報リテラシー指導の現状-各大学の事		
	17.12. 2		例報告 — 基調講演		
			大学図書館と情報リテラシー	逸村 裕	名古屋大学
		中京大学	事例報告 名古屋大学附属図書館における情報リテラシー教育	次良丸 章	名古屋大学
			図書館情報リテラシー教育 - 小さな図書館, 小さな学 部での試み -	原 泰子	名古屋市立大学
17			中京大学図書館 情報リテラシー教育の現状 ニッチ戦略(隙間産業)で、大学に貢献できる情報リテ	春日井 正人 杉田 いづみ	中京大学 三重大学
			ラシー教育支援を目指す – 三重大学附属図書館の取組 – 岐阜県立看護大学図書館における利用教育	井上 貴之	岐阜県立看護大学
			大学ポータルを中心とした名古屋学院大学の情報環境	中田・晴美	名古屋学院大学
			テーマ:利用者サイドに立つ図書館サービス 講演		
	18. 1.30	名古屋大学	北米大学図書館における利用者中心の図書館サービス	シャロン・ドマイヤー	マサチューセッツ 大学
			利用者の利用行動に基づいた図書館サービス	越塚 美加	学習院女子大学
			テーマ:大学図書館の地域連携 事例報告	11.1 ==	亚加 田 回去 丛
	10 1 10	杜克贝园事於	相互利用協定と愛知県内図書館のILL 定期便設置実証実験		愛知県図書館
	19. 1.12	岐阜県図書館	静岡県内の大学図書館における連携について 岐阜県における公共図書館との連携図書館	大石 博昭 木村 晴茂	静岡大学 岐阜大学 番知医乳土学
			東海目録(TOMcat):病院図書室と大学図書館の連携 図書館の教育支援,地域支援:豊田高専の英語多読を 通して	坪内 政義 西澤 一	愛知医科大学 豊田工業高等専門 学校
18			プログロップ (Web2.0 時代の図書館サービス		一 小人
			ボーマ・Web2.0 時代の図書館サービス	岡本 真	Academic Resource
	19. 3. 7	名古屋大学	11602.0 时 1772回 日 邱		Guide Guide
	10. 0. 1		講演 図書館利用者の情報探索活動に関する実証的研究	寺井 仁	名古屋大学
			Web2.0 時代の新たな図書館サービスの展開	林賢紀	農林水産省

年度	年月日	会 場	演題	講師	所属
19	19.11.28	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集~目録・分類 電子情報(電子ジャーナル,データベース等) 図書館情報リテラシー教育 ILL 大学図書館の最近の動向・海外事情	雨河栗紅 弘宗容 涼正 京正 京正 京正	お茶の水女子大学 三重大学 名古屋大学 南山大学 名古屋市立大学 中部大学
	20. 3. 5	中部大学	テーマ:魅力ある大学図書館をめざして 講演 どこから拓く? 大学図書館の可能性 - 学習支援の視 点から ここから拓いた - お茶大図書館活性化のための5つの 作戦	井上 真琴 茂出木 理子	同志社大学お茶の水女子大学
	20.12.22	アクトシティ 浜 松	テーマ:図書館と著作権 講演 図書館業務と著作権 映像資料の利用と著作権法について	南川 貴宣三浦 正広	文化庁著作権課 国士舘大学
20	21. 3. 4	西尾市岩瀬文庫	テーマ:学芸員の世界 岩瀬文庫見学 講演 学芸員の仕事 - 内藤記念くすり博物館の世界 - 学芸員の仕事 - 岩瀬文庫の世界 -	野尻 佳与子 林 知左子	内藤記念くすり博 物館 西尾市岩瀬文庫
21	21.12. 3	同朋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集〜目録・分類 電子情報(電子ジャーナル,データベース等) 情報リテラシー教育 ILL 大学図書館と広報	雨森 弘行德子 京容睦佐 外原 佐 大神原 佐 女之	前お茶の水女子大学 三重大学 名古屋大学 名古屋市立大学 愛知医科大学 名古屋造形大学
	22. 2.23 22. 3. 5 22. 3.10	名古屋大学	保存修復講演会・講習会 テーマ:図書資料の保存と修復 講演 紙資料の保存修復 講習会 修復実務講習会	金山 正子 岩田 起代子	元興寺文化財研究所 前 名古屋産業大学・ 名古屋経営短期大 学図書館
	22.12. 9	名古屋大学	テーマ:実践で役立つレファレンス・ツール - 国立国 会図書館提供ツールを中心に - 講義 1 講義 2	兼松 芳之	国立国会図書館
22	23. 3.16	静岡県男を 同場を 同なります。 おがれる。	テーマ:電子書籍を中心とした資料のデジタル化の動向 と図書館の今後 講演 変革期のデジタル化と図書館-国立国会図書館の動向 を中心に- 電子書籍の急速な普及と大学図書館	中井 万知子	国立国会図書館関 西館 千葉大学
23	23.12.15	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 大学図書館職員に求められているもの 資料の収集~目録・分類 電子情報(電子ジャーナル、データベース等) ILL プレゼンテーション入門 カナダの大学図書館事情	加藤 信宗友涼政田 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	名古屋大学 三重大学 名古屋大学 名古屋市立大学 名古屋大学 静岡大学
	24. 3. 8	名古屋大学	テーマ:災害時における危機管理 事例報告 そのとき私たちができたこと - 東北大学附属図書館が 遭遇した東日本大震災 - 私の東日本大震災体験 - 図書館の被害と復旧を中心と して	小陳 左和子和知 剛	東北大学郡山女子大学

年度	年月日	会 場	演 題	講	師	所 属
			テーマ:海外大学図書館にみる学習支援			
24	24.12.15	名古屋大学	報告 香港、シンガポール、オーストラリアの大学図書館におけるラーニング・コモンズの整備及び学習支援の現状 講演 ***********************************	橋森仲池高神	佳芳里 里江 知子	静岡大学 名古屋大学
			大学図書館が実施する学習支援・教育支援サービス 北米の事例から見えるもの パネルディスカッション	近田	多代 政博 ネーター)	三重大学 名古屋大学
	25. 3.13	三 重 大 学	テーマ:図書館資料の補修について 講義 図書館における資料保存の基本的な考え方	大竹	茂	国立国会図書館
			実習 簡易な補修 - 破れのつくろい、外れたページの差し込み	大竹	茂	国立国会図書館
	25.12.13	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 激動の時代を生き抜くために 情報リテラシー教育 ILL(相互貸借)	草間 島田	弘之、 知美 美津穂	
25			電子情報(電子ジャーナル,電子ブック、データベー ス等) 分類・目録 プレゼンテーション入門	揚野	和宏 敏光 政博	名古屋工業大学 名古屋大学 名古屋大学
	26. 3. 3	名古屋経済大学 (名駅サテライト キャンパス)	テーマ:西洋古典籍資料の整理・保存について 講演 歴史的製本の修理について 洋書の扉	岡本	幸治彰	製本家、アトリエ・ ド・クレ主宰 元跡見学園女子大学
	26.12.19	愛知県図書館	テーマ:「機関リポジトリの基礎知識と最新動向」 講演 学術コミュニケーションの動向 機関リポジトリの実務 著作権・学位論文を中心に 事例報告 地域からの事例報告 全体質疑・意見交換	三隅	雅子	千葉大学 北海道大学 名古屋工業大学 愛知大学 静岡大学
26	27. 2.16	静 岡 大 学 (浜松キャンパス)	※静岡県大学図書館協議会と共催 テーマ:学生を振り向かせる!伝わるポスター作成術 講演 基礎)ポスター、チラシ、プレゼンテーションに必要 な要素 理論)コミュニケーション理論から見た広報 実践)便利なツール、テクニック、キャッチコピーの つくり方 広報カウンセリング ポスターを作ってみよう	はや	のん	理系漫画家
27	27.12. 7	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 「最近の図書館の動向 ~素敵な図書館と素敵なライブ ラリアンとの出会い~」 情報リテラシー教育 ILL(相互貸借) 電子情報(電子ジャーナル、データベース等) 分類・目録 グループ討議・発表	松森加藤	直美 隆一郎 直美文 古香	愛知大学 愛知県立大学 愛知工業大学 浜松医科大学 名古屋大学
	28. 3. 7	名古屋外国語大学 · 名古屋学芸大学	テーマ: 伝わる声の出し方・話し方 講演(実習含む)	赤間	裕子	 声と話し方コンサル タント

年度	年月日	会 場	演 題	講師	所 属
28	28.11.22	名古屋大学	テーマ:無線綴じ資料の補修 講演(実習含む)	板倉 正子	特定非営利活動法 人書物の歴史と保 存修復に関する研 究会
	29. 2. 6	名古屋工業大学	テーマ:古典籍の基礎知識 講演 洋古典籍はどんな姿をしているのか 水田文庫整理にたずさわって 古典籍書誌DBのすすめ	高野 彰 中井 えり子 塩村 耕	元跡見学園女子大学 元名古屋大学 名古屋大学
29	29.11.17	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 講義 レファレンス (現場からの具体的な事例紹介) 図書館若手職員の経験談 これからの図書館に期待するもの	佐藤 美穂 井出 直樹 東槇 典子 鰐部 美香	名古屋大学 静岡文化芸術大学 名古屋外国語大学 名古屋学芸大学 名古屋大学
			演習 広報・展示:朝刊の記事から pop を作り、2 時間以内に 資料を展示 - 安城市図書情報館「日めくり展示」にチャレンジー 担当業務別グループによる討議・発表	押樋 良樹	図書館コミュニケー ションデザイナー
30	31. 2.14	名古屋女子大学	テーマ:利用者と図書館をつなぐ空間づくり 講演 ワークショップ 1 利用者の目線を考える ワークショップ 2 空間のイメージをつかむ	尼川 ゆら	空間演出 コンサルタント
令和元	元 .12. 9	名古屋大学	「図書館職員基礎研修」 基調講演 大学図書館の今とこれから 講義 情報リテラシー 電子情報 ILL 目録・分類 グループによる討議・発表	佐藤 翔 柴田 佳寿江 林 和宏香 横嶋 隆教	同志社大学 三重大学 名古屋大学 名古屋大学 爱知県立大学
2	2.12.10	オンライン開催 当番:三重県立 看護大学	テーマ:インフォデミックと図書館:ポストコロナ・AI 時代に図書館員が生き残るには 講演 インフォデミックと図書館:ポストコロナ・AI 時代に図 書館員が生き残るには	佐藤 正惠	司書・ヘルスサイエン ス情報専門員(上級)
3	4. 2.18	名 古 屋 大 学 オンライン開催 (予定)	「図書館職員基礎研修」 基調講演 大学図書館の今とこれから 講義 資料の整理 業務全般 COVID-19 と図書館サービス 社会貢献 グループワーク「今とこれからを考える」	佐藤 翔 槙島 隆教 大揚野 全梨 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	同志社大学 愛知県立大学 人間環境大学 名古屋大学 岐阜大学

「東海地区大学図書館協議会誌」掲載記事の電子的公開、転載、学術機関リポジトリでの公開について

- ・著作権は著作者本人にあります。
- ・著作者本人が、ホームページ等で電子的公開、転載、あるいは学術機関リポジトリへ搭載する場合、 著作者本人からの申請書等の提出は必要ありません。

(平成19年7月9日 東海地区大学図書館協議会運営委員会(第19-1回)決定)

東海地区大学図書館協議会誌 第66号(2021)

令和3年12月25日印刷 令和3年12月28日発行

編 集 · 発 行 東海地区大学図書館協議会事務局

名古屋市千種区不老町 名古屋大学附属図書館内

電話 052-789-3666

ホームページ https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tokai/

振 込 先 三菱 UFJ 銀行今池支店 普通預金 口座 1747229

東海地区大学図書館協議会誌第66号広告主一覧(掲載順)

株式会社大垣共立銀行 EBSCO Information Services Japan 株式会社 株式会社サンメディア ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社 株式会社カミヤマ 富士通Japan株式会社 式会社ニュート 株式会社紀伊 國 屋 店 雄松 丸 堂 株 式 社 式 会 社 株 ユニ 株式会社ちくさ正文館書店 ブ ッ ク マ ン エ 日本ファイリング株式会社 双光エシックス株式会社 大垣正和サービス株式会社 株式会社Dream少年 株 式 会 社 極 東 書 店 一元的な所蔵電子資料の管理から提供までを実現する 電子情報資源管理システム

EBSCO ERM 単体でもご利用頂けます

現在ご利用の図書館システムを FOLIO へ 移行しなくても、ご利用頂けます

EBSCO

Electronic Resource Management

資料の利用率を伸ばし、詳細な分析を通じた費用対効果の向上と業務負担の軽減を実現

EBSCO Electronic Resource Management (ERM) は電子リソースの評価から提供まで、電子リソースに関わるサイクル全体を管理するためのツールです。

豊富な種類の API により、現在お使いの図書館システムとの連携はもちろん、オープンソースの図書館サービス プラットフォーム FOLIO に組み込んでのご利用も想定頂け、カスタムタイトル・電子ジャーナル・電子書籍パッケージな どの所蔵全般・Proxy 設定・COUNTER 統計・予算情報などを一元的に管理できます。

また EBSCO ERM には EBSCO Knowledge Base が搭載されており、お客様が契約している電子資料の所蔵情報を網羅。更に EBSCO ERM を EBSCO Discovery Service® (EDS) と統合頂くことで、利用者は図書館が契約している

電子資料に迅速かつスムーズにアクセスすることが可能になります。

EBSCO ERM で管理できる情報:

- 所蔵情報全般(カスタムタイトル・電子ジャーナル/電子書籍のパッケージ含む)
- Proxy 設定
- ・ ノート / アイコン
- COUNTER 統計
- 予算情報
- 連絡先・ライセンス・契約情報



図書館が所蔵する資料・リソースの力を引き出し、利用者の検索を向上 EBSCO Discovery Service[™] (EDS)

学生・研究者の皆様を学業・学術における成功へ導きます

• 洗練された検索エンジン

厚みのあるメタデータと優れた関連度ランクで、より有意義な検索結果をもたらします。

• 全文情報に直接アクセス

検索結果からワンクリックで全文情報にアクセスできます。

直感的にご利用頂けるユーザーインターフェイス

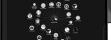
ユーザー調査に基づき設計された機能を備えます。

• 優れた統合性

日本語リソースを始めとする様々なリソースを検索対象として統合できるほか、多様な App (付加機能)との統合にも対応します。

• 充実の日本語サポート

導入前も後も弊社の経験豊富なスタッフが、日本語でのサポートをご提供します。



EDS の インターフェイスが進化して、よりパワフルに!

UIのレイアウトを一新するほか、パーソナライズされたダッシュボード(ホーム画面)、検索した主題と他の 主題の繋がりをビジュアル化するコンセプトマップなど、新機能を搭載し、よりパワフルな UX をご提供します。

EBSCO Information Services Japan 株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野2-19-2 中野第 I OSビル 3階

TEL 03-4540-7169 | MAIL jp-ebscohost@ebsco.com | HP: https://www.ebsco.com/ja-jp

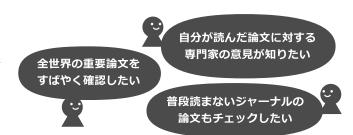
EBSCO

研究者が求める新たな論文評価システム

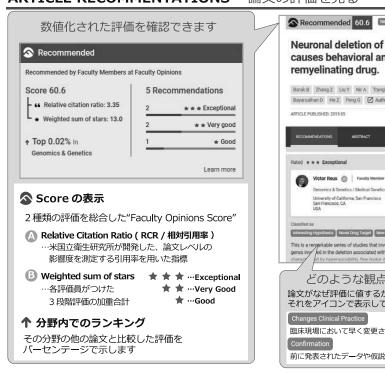


膨大な数の論文から必読の重要文献を すばやくチェックすることで研究効率を改善します

Faculty Opinions は生物学や医学の文献の中から、その分野のトッ プリサーチャー(Faculty メンバー)が必要な 論文を推薦するウェ ブサービスです。大量の論文の中から必読の重要文献を効率的に探 すことができます。トップリサーチャーは全世界から 8,000 人以上 選出され、Nature、New England Journal of Medicine、Science をはじめとした3,500 誌以上を対象に論文を評価しています。



ARTICLE RECOMMENTATIONS 論文の評価を見る





Rankings 評価の高い論文をすばやくチェック

評価の高い論文TOP10をランキング形式で確認できます。分野ごとのランキングなど、研究に 役立つランキングが用意されています。

120 days roaming access リモートアクセスも可能!

MY ACCOUNTを作成すると、所属機関のネットワーク外からでもサインインして Faculty Opinionsをご利用いただけます。機関外からのアクセスの有効期限は120日間(*)です が、有効期限内に機関内からMY ACCOUNTにサインインすると、有効期限が延長されます。

*…コロナ禍の特別措置として、有効期限が60日間から120日間に延長されています。この措置の終了日は未定です。

導入機関は世界で200以上

- · Duke University (USA)
- · Columbia University (USA)
- · Harvard University (USA)
- · National Library of Medicine & NIH (USA)
- · National Taiwan University (Taiwan)
- RIKEN Center for Developmental Biology (Japan)
- · Stanford University (USA)
- University of Hong Kong (Hong Kong)
- · University College London (UK)
- · Krolinska Institute (Sweden)
- · University of Southern California (USA) Hebrew University of Jerusalem (Israel) ほか、多数

トライアルのお申込み、お問い合わせは



■ SUNMEDIA 株式会社サンメディア e-Port カンパニー

e-mail: e-port@sunmedia.co.jp

Faculty Opinions に関する 詳しい情報は こちらからご覧いただけます!



〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル Tel: 03-3299-1575 Fax: 03-3374-1410

ワイリー・オープン・アクセス・ アカウント (WOAA)

大学・研究機関、研究助成団体、学会、政府組織などでは、論文掲載料 (APC) を中心に研究者を支援することで、OA化を促進するケースが増えています。

ワイリー・オープン・アクセス・アカウントは、大学・研究機関や研究助成団体が、研究者に代わってオープンアクセス取引の論文掲載費用を合理化、一元化、容易に管理するための革新的なソリューションです。



WOAAの特徴

- セルフサービスのアカウントダッシュボードで、管理者はOA予算やコンプライアンスを管理できるようになります
- APCの支払いを一元化することで、機関のOA化の流れを促進します

オプション

OA予算や資金調達のガイドラインに合わせて、WOAAの設定方法を選択することができます

- •契約期間
- 貴機関の条件に適した支払い方法
- ジャーナルの選択: ハイブリッド・ジャーナル、完全なゴールドOAジャーナル

数字で見る	230誌以上 ゴールド (フル) OAジャーナル	1,400誌以上 ハイブリッドジャーナルには OAのオプション付	120以上の分野 ジャーナル対象分野
数子で見る WileyのOA出版*	8万報以上 ゴールドOAジャーナル に掲載された論文数	9万本以上 ハイブリッド型OAジャーナル に掲載された論文数	1,600以上 WOAA機能を介して研究者に OAの利用提供をしている 全世界の機関

^{* 2021}年1月現在のデータ



詳細については、libraryapac@wiley.com までお問い合わせください。

WILEY





営業品目

- □ 企画デザイン 会社案内・パンフレット・チラシ・社史・記念誌
- □ データ処理 名簿・価格表・マニュアル
- □ 業務用印刷 名刺・封筒・はがき
- □ **自 費 出 版** 自分史·詩集·追悼集·旅行記

総合印刷

http://www.kamiyama.co.jp

株式カミヤマ

本 社 〒451-0042 名古屋市西区那古野一丁目 21番 14号 TEL(052)565-1118 FAX(052)565-1054

■ **上名古屋工場** 〒451-0025 名古屋市西区上名古屋三丁目 18番1号 TEL(052)524-2711 日本の 「これから」を、 DXでともにつくる。



この国のさまざまな企業、

そして、あらゆる街や地域のために貢献していくこと。

それが、富士通の国内事業を支える中核企業として誕生した富士通Japan株式会社の使命です。

私たちは、AI、クラウド、ロボット、IoTなどのテクノロジーと

DX(デジタルトランスフォーメーション)により、

お客様と新しい日本のビジネスのカタチをつくり、成長を生み出し、

人を中心とした働き方を実現していきます。

富士通Japan株式会社

洋書のご用命は

" 二 ュ 一 ト リ 丿 " にお任せください

海外学術書籍(冊子版・電子版)、データベース、ソフトウェアの輸入販売店



- ■大手出版社から小規模出版社まで幅広くお取扱い
- ■ご好評の電子書籍もお取扱いしております
- ■リーズナブルな価格設定

全国の大学・研究所・ 企業・高専の図書館様、研究者様に <u>ご利用いただいておりま</u>す。

Neutrino WebShop https://neutrino.shop-pro.jp/

株式会社ニュートリノ

-東京·名古屋·仙台-

〒182-0024 東京都調布市布田1-44-3

TEL:042-484-5550 / FAX:042-484-5556 / E-mail:info@neutrino.co.jp 〒497-0016 愛知県あま市七宝町徳実郷24-4

TEL:052-462-0067 / FAX:052-462-0068 / E-mail:nagoya@neutrino.co.jp 〒981-8007 宮城県仙台市泉区虹の丘3丁目10-1

TEL&FAX:(022)725-5573 / E-mail:sendai@neutrino.co.jp



導入費·維持費 年間利用料 無料*

買切りコンテンツ ※購入後の更新不要

しかも! breader cloud 無料アプリで読める のはKinoDenだけ

> ※ご利用されている図書館システムとの 連携に費用がかかる場合がございます。

あなたのスマホが、図書館にかわります

「知りたい、学びたい」と 願う全ての人のために、 まなびのつながりを育む。

丸善雄松堂は、地域や社会に広がる「まなびの つながり」を育み、人びとの持続的なまなびを 促進する環境づくりをご支援します。

丸善雄松堂株式会社 名古屋支店

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄1-24-15

JPR名古屋伏見ビル5F

TEL:052-209-2602 FAX:052-209-2614

URL: https://yushodo.maruzen.co.jp



M MARUZEN-YUSHODO



コンパクトな書店ですが、専門書が充実の棚揃え

人文•社会科学書籍

ウニタ書店

株式会社 ユニテ

名古屋市千種区今池1-6-13 今池スタービル1階 (新店舗に移転しました。名古屋シネマテークと同じビルです。)

Tel.052-731-1380 Fax.052-732-1684

E-mail:unita731@m7.dion.ne.jp

営業時間:10:30~20:30(日曜定休日)

新刊書だけでなく、品切書籍の探索、洋書の取り寄せも行なっています。

読書人のための

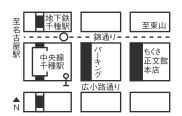
ちくさ正文館書店

E-mail:tsb@quartz.ocn.ne.jp

株式会社ちくさ正文館書店

ちくさ本店:名古屋市千種区内山三丁目28番1号 ☎741-1137(代)

名 城 大 支 店:名古屋市天白区塩釜口一丁目501番 ☎833-8215





公費・科研費等のお支払いも対 応いたします。

お気軽にお問い合わせください。

入手が困難な外国資料・洋書(印刷物)の調査・入手

海外の学協会、大中小規模の出版社、及び特殊団体の出版物・会議録など入手の困難な印刷物、さらに古書の調査・入手をお手伝いいたします。

大手書店の絶版・入手困難等の出版物も海外在庫・古書の状況調査を致します。

学術図書輸入販売 Bookman M

ブックマン・エム

〒465-0097 名古屋市名東区平和が丘 3-76-2-A602 Tel 052-782-4771 Fax 052-782-4771 mobile: 090-8954-4594 E-Mail: ya,miyazawa@gmail.com



中日新聞・東京新聞記事データベース

中日新聞・東京新聞をほぼ完全収録し、地域に密着した ニュースと話題が満載。地方版も含めたあらゆる記事が 検索できます。



中日新聞

1987年4月~

東京新聞

1997年4月~

※2010年4月からは、紙面切り抜きイメージをカラーで表示・印刷できます。

資料の電子化サービス

貴重な史料や共有 (公開) したい資料を電子化し、情報を 活用するお手伝いをします。

資料の電子化に関するご用命は、何なりとお問い合わせください。



- ・ドキュメントソリューションサービス (デジタルアーカイブ)
- ・データベースの構築及びファイリングシステムの提案・開発
- ・データエントリーサービス
- ・マイクロフィルムデジタル変換サ<u>ービス</u>
- ・印刷企画制作及び出版

お問い合わせ先



双光エシックス株式会社

愛知県名古屋市東区芳野3丁目9番17号

TEL 052-979-7811(代表)

FAX 052-979-7815

URL https://www.ethics.co.jp

E-mail info-mail@ethics.co.jp



FS 76964 / ISO9001

OKBショップ









大垣市の郭町商店街「OKBストリート」に平成28年12月26日オープン。

OKBのビジョンは『OKBって、銀行もやっていたんだ』と、いつか言われるようになりたい。本業である金融業を軸に据えつつも、サービス業として「OKB」という大きなブランドを作り上げる"脱・銀行"というイノベーション。 OKBショップでは、そのような理念のもと、地域貢献をベースに地元企業とのコラボレーションによって生まれた各種 OKBブランド商品を多数取扱い。

【運営会社】大垣正和サービス株式会社 (OKB大垣共立銀行パートナー会社)

〒503-0887 岐阜県大垣市郭町 2-6 (OKBストリート郭町EAST) TEL:0584-78-6477 http://www.ok-sol.co.jp/



大学提供情報や就職活動その他の学生生活に有益となる学生生活情報を配信している会社です。

株式会社Dream少年

[本社]岐阜県大垣市加賀野四丁目1番地7 ソフトピアジャパンセンター 9階 TEL:0584-82-3068 [東京オフィス]東京都港区港南二丁目16番1号 品川イーストワンタワー 4階 TEL:03-6890-3972 [ホームページ]http://dreamshonen.com [E-Mail]info@dreamshonen.com

日本研究ハンドブックシリーズ

Japan Documents Handbooks Series

人文科学・社会科学分野における日本研究を英語で世界中に発信

Japan Documents Publishing は、欧米の学術情報の輸入専門商社である株式会社 MHM のインプリントです。MHM は、日本の学術洋書輸入における豊富な実績をもとに、レベルの高い英語での日本研究の出版に特化するために、Japan Documents Publishing を設立しました。出版される刊行物は日本の国内市場における販売にとどまらず、欧米の優れた大学出版局との関係を活かした海外市場への販売も展望しております。日本人の研究者による編集や寄稿を重要な方針のひとつとしており、我が国を代表する研究者はもとより、若い研究者の方々や実務家などの幅広い層の研究者が参加していることが特徴となります。また、日本国内外で日本に関する研究に従事されている外国人研究者の方々にも積極的に関与していただいております。

今回企画された新しいシリーズの Japan Documents Handbooks Series は学術上の様々な分野における「日本研究」に焦点を当て、世界中の学術市場に向け、東京から英語で出版いたします。特に人文科学と社会科学分野を中心に、年平均 6 タイトルの刊行を予定しており、各巻にはトピックのさまざまな側面について新しく書かれた 8,000 語程度の査読を受けた論文を平均 20 本収録し、研究者や学生の役に立つ最新の情報を集めたハンドブックを提供して参ります。

【Japan Documents Handbooks Series:刊行予定タイトル】

<2021 年秋・冬刊行予定タイトル>

ポール・スノードン編 日本の高等教育ハンドブック

Handbook of Higher Education in Japan

(9784909286000: Paul Snowden, Emeritus Professor, Waseda University, ed.)

ショーン・オドワイヤー編 近代日本における儒教ハンドブック

Handbook of Confucianism in Modern Japan

(9784909286086: Shaun O'Dwyer, Kyushu University, ed.)

日本のメディアハンドブック

Handbook of Japanese Media

(9784909286048: Griseldis Kirsch & Forum Mithani, SOAS, eds.)

マーク・ウィリアムズ他編 日本のキリスト教作家ハンドブック

Handbook of Japanese Christian Writers

(9784909286109, Mark Williams, International Christian University &

Van Gessel, Brigham Young University, & Yamane Michihiro, Notre Dame University, Okayama, eds.)





日本総代理店極東書店

東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル TEL 03(3265)7531 | FAX 03(3556)3761 | E-MAIL info@kyokuto-bk.co.jp

https://www.kyokuto-bk.co.jp

営業所: 関西・福岡